

新たな足立区基本構想について
(答申)

協創力でつくる
活力にあふれ 進化し続ける
ひと・まち 足立

平成28年2月
足立区基本構想審議会

答 申

平成27年7月27日付で、貴職から諮問の
ありました「新たな足立区基本構想について」
につきまして、ここに結論を得ましたので、本
文のとおり答申します。

平成28年2月25日

足立区長 近 藤 や よ い 様

足立区基本構想審議会会長

牛 山 久 仁 彦

足立区基本構想 答申にあたって

足立区基本構想審議会は、今後の30年間の区のあるべき姿を見据えた新たな足立区基本構想について、平成27年7月、区長から諮問をいただきました。

足立区は、これまで「治安」や「学力の向上」等の直面する課題に重点的に取り組むとともに、大学を誘致し、若者を中心としたにぎわいのある拠点を整備するなど、新たな魅力づくりを着実に進めてきています。現基本構想に掲げた「協働」については、区民・事業者と行政とのパートナーシップで取り組む事業や、区民主体の取り組みが展開され、広く定着しています。

その一方で、今後を展望すると、さらに進展する人口減少、少子・超高齢社会の到来、社会保障費等の行政需要の増加など、対応が急がれる課題も生じています。

本審議会では、このように区と区民等の協働により実現してきた様々な成果をあらためて検証するとともに、今後の新たな課題への対応を踏まえて、新基本構想に盛り込むべき理念や将来像等について、真摯に議論してきました。

また、幅広い世代の区民や中・高生にも足立区の課題や将来について語りあっていただき、合計158名の意見が、代表の中学生から「足立区の未来を良くして欲しい」の言葉とともに審議会の場で直接手渡されました。

本審議会は、そうした思いや意見を受け止めながら、課題毎の4つの専門部会を設置して専門的な観点から審議を行い、また全体会でその課題を共有する等、延べ19回にわたる会合を開催して慎重に検討を重ねてまいりました。

ここに、審議の結果を取りまとめましたので、答申いたします。

諮問に際して、区長からは、足立区がさらに発展していくために、「協働」に続く牽引力のある考え方を出していただきたい、との言葉をいただきました。

このことについて、今回の審議の中では、「多様性」や「つながり」といった言葉が各委員からもたびたび言及されました。そこで、委員の皆様のご意見を踏まえ、区民の「多様性」や「つながり」を活かし、地域の課題解決に取り組む仕組みを「協創」と定義し、「協創力」とともに新基本構想の中心となるキーワードとして提言しています。これまでの「協働」とともに、区民、事業者と区が「協創」や「協創力」を活用しつつ、足立区の新たな未来をつくりあげていくことが期待されます。

区長におかれましては、新しい基本構想・基本計画の策定にあたって、本答申の趣旨を十分に尊重していただき、区の将来像の実現及び諸課題の解決に向けて、一層ご尽力くださるよう要望いたします。

最後に、ご多忙の中ご審議していただきました足立区基本構想審議会委員の皆様方に心から感謝を申し上げます。他の自治体では見られないような建設的で熱心な議論がゆえに、最後まで多様な修正意見も出される等、誠に有意義な時間を過ごすことができました。

審議中にいただいたご意見やご提案には、本答申に明記されてはいないものの、まさに具体的な施策や事業につながるものも数多くあり、これらを今後の区政に活かしていただくことで、足立区の今後の発展と豊かなまちづくりが進められるものと考えます。

平成28年2月

足立区基本構想審議会

会 長 牛 山 久 仁 彦

目 次

はじめに	1
1 基本構想とは	1
2 基本構想答申の作成方針	1
3 新たな基本構想答申の検討にあたって	1
第 1 章 これまでの取組みの成果と現状	3
1 これまでの基本構想の振り返り	3
(1) 時代とともに変化してきた基本構想	3
(2) 前基本構想に基づく取組みと成果	3
(3) 重点プロジェクトに基づく取組みと ボトルネック的課題解決の必要性	5
2 足立区を取り巻く社会情勢の変化	9
(1) 足立区を取り巻く厳しい社会情勢	9
(2) 足立区が迎えるチャンス	11
第 2 章 足立区が目指す「将来像」	14
1 将来に向けた課題と解決の方向性	14
2 将来像を設定する基本的な考え方	16
3 目標とする足立区の将来像	17
第 3 章 将来像の実現に向けた 4 つの視点 (基本的方向性)	19
視点 1【ひ と】多様性を認めあい、夢や希望に挑戦する人	19
視点 2【くらし】人と地域がつながる 安全・安心なくらし	20
視点 3【ま ち】真に豊かな生活を実現できる 魅力あるまち	20
視点 4【行財政】様々な主体の活躍とまちの成長を支える行財政	21
おわりに 基本構想の実現のために ～未来に向けた協創の構築を～	22
資 料	25

はじめに

1 基本構想とは

基本構想は、足立区が目指すべき将来像と、その実現に向けてまちづくりを進めていくうえでの基本的な考え方や方向性を示すものです。

区民と行政がその内容を共有し、同じ目標に向かって進むための指針となるように基本構想答申を検討しました。

2 基本構想答申の作成方針

第1章から第3章までを足立区が策定する基本構想案となるように、足立区基本構想審議会として取りまとめました。

また、「おわりに」については、足立区が目指すべき将来像や方向性を実現するため、足立区基本構想審議会から行政に求める項目を記載しました。

3 新たな基本構想答申の検討にあたって

区民と行政の共通の目標を描くために、基本構想答申の検討にあたっては次のような考え方で取り組みました。

●長期的な足立区の未来を描く基本構想

新たな基本構想では、変化しつつある社会情勢に柔軟に対応し、足立区が目指すべき姿とその実現に向けて区民と行政が共有すべき基本的な考え方を示します。

区では、これまでの30年間で、高齢化率（65歳以上の方の割合）が7.5%から24.2%に進展し、また、一般会計決算における民生費の支出が441億円から1,209億円へと約2.7倍になるなど、区を取り巻く状況が大きく変化してきました。高齢化はさらに進み、30年後には3人に1人が高齢者となるなど、引き続き大きな変化が予測されることから、今後30年間を見据えた基本構想が必要と考えました。なお、今後、社会情勢が大きく変化した場合には、その都度見直す必要があると考えます。

●区民参画による基本構想の検討

目指すべき将来像が区民と行政の共通の目標となるためには、区民の理解や共感が得られる必要があります。そのため、これまで区政に関わる機会が少なかった世代も含めた幅広い区民参画を求め、基本構想を検討しました。

30年後には足立区を担う中心世代となる「中・高生」をはじめ、「子育て世帯」「単身者」「20歳」「40歳」「シニア」の各世代で無作為抽出等により合計158名の参加者を募り、足立区の現状と課題や30年後の将来像について語りあっていただきました。座談会で得られた様々なご意見・ご提案は、基本構想答申について審議する際の基礎資料として活用しました。

第1章 これまでの取組みの成果と現状

1 これまでの基本構想の振り返り

(1) 時代とともに変化してきた基本構想

足立区は昭和47年に「足立区長期基本計画」を、昭和53年には法定計画として最初の基本構想「21世紀に向けて」を取りまとめました。その後、平成4年の改定を経て、平成16年に新たな基本構想（以下、「前基本構想」という）を策定しました。

平成4年の改定時は、バブル経済の破綻と重なっていたものの、社会全体は成長基調であり、基本構想における将来像も経済成長が持続することを前提として設定されました。

しかしながら、前基本構想では、当時の社会経済状況について、「大幅な経済成長が望めない中、物質的な豊かさよりも、生活の質の向上を望む方向へ人々の価値観が変化してきている。一方で、地方分権の推進が大きな流れとなり、地方自治体は自らの責任で特色ある自治体経営を行うことが当然のこととなってきた」と整理しています。そのため、「区民生活に根ざした基本構想であること」や、「より重要で緊急な課題を優先して解決していくために選択と集中の基本構想であること」を目指して策定されました。

(2) 前基本構想に基づく取組みと成果

前基本構想では、「協働で築く力強い足立区の実現」を基本理念として掲げ、3つの将来像「1 魅力と個性のある美しい生活都市」「2 自立し支えあい安心して暮らせる安全都市」「3 人間力と文化力を育み活力あふれる文化都市」を定め、様々な分野における区民との「協働」により、その実現に向けて、基本計画等を定めて取組みを進めてきました。

● 「1 魅力と個性のある美しい生活都市」に向けた取組みと成果

足立区は23区中第3位の面積を有し、区内には舎人公園等の都立公園をはじめ大小の公園が点在しています。また、区の北西から南東へと荒川が流れているほか四方を川で囲まれていることや、23区でも有数の農業区であることなど、水や緑が多い自然に恵まれた区です。

区内の交通網は、これまでの北千住駅を中心とした都心方向への鉄道路線に加え、つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナーの開業、鉄道駅を結ぶコミュニティバスの路線増設などにより、公共交通が不便な地域（交通空白地域）

が大幅に減少しました。しかしながら、区内の東西方向の交通網の整備が遅れており、さらなる充実が課題となっています。現在、都内初の区施行による竹ノ塚駅付近鉄道高架化の事業を進めており、地下鉄8号線（有楽町線）の区内延伸にも取り組んでいます。今後は、さらに交通利便性が高まることで、まちが発展・活性化することが期待されます。

加えて、都市計画道路網の整備や土地区画整理事業の進行により良好な都市基盤が整備されているとともに、ゲリラ豪雨などにも対応できる雨水処理により大雨時の冠水被害が少なくなるなど、居住環境が一層充実してきています。

また、区内に点在する既存の密集市街地では、細街路の拡幅整備や木造老朽住宅の耐震化などにより防災性の向上に取り組んでいます。

豊かな自然環境と都心に近い立地を活かした、便利で安心して住み続けられるまちとして区内外から評価が高まりつつあり、転入者の増加にもつながっています。

● 「2 自立し支えあい安心して暮らせる安全都市」に向けた取り組みと成果

足立区では他区に類を見ないほど急速に高齢化が進んでおり、平成11年までは23区中22位だった高齢化率が平成26年には第2位となる一方で、生産年齢人口（15～64歳）の割合は平成19年以降最下位となっています。

昔ながらの人情味ある温かいつながりが残る地域では、今でも地域で支えあえる関係が築かれていますが、高層マンションや新たな戸建住宅地など、転入者が多い地域では地域コミュニティの希薄化が進む傾向が見られます。町会・自治会加入率を見ると、平成16年の約64%から、平成23年の東日本大震災以降は下げ止まる傾向が見られたものの、平成27年には約56%まで減少しています。

そうした中、福祉の様々な分野におけるNPOやボランティア等による取り組みや、「地域の安全は地域が守る」という意識による町会・自治会を中心とした取り組みなどが展開されてきました。

また、地球温暖化など世界規模での環境問題が深刻化する中、足立区においても環境負荷が少なく安心して暮らし続けられる循環型社会を形成するため、ごみの資源化に積極的に取り組んできました。特に、燃やさないごみの資源化率が約91%（平成26年度）に達したことや、全国で初めて木製粗大ごみの資源化を実施するなど、全国でもトップクラスの実績をあげています。

● 「3 人間力と文化力を育み活力あふれる文化都市」に向けた取り組みと成果

足立区では、平成17年に千住地区を中心とした「足立区文化・産業・芸術新都心構想」を策定しました。この構想に基づき、東京芸術センター、シアター1010（足立区文化芸術劇場）などを整備したほか、東京藝術大学など複数の大学の進出につながりました。

また、区内での起業支援に取組み、創業支援施設の提供や創業相談などの充実により、企業の成長や区内定着を促進してきました。

このように文化芸術を通して豊かな人格を形成できる環境や、起業したい人を支援する環境を整え、人を育むまちづくりを進めてきました。

(3) 重点プロジェクトに基づく取組みとボトルネック的課題解決の必要性

足立区では、基本計画に掲げた施策の中で特に重要かつ喫緊の課題を解決するため、平成 21 年度に「足立区重点プロジェクト推進戦略」を策定し、優先的に取組むべき課題を「子ども」「暮らし」「まちづくり」「経営改革」の 4 分野に分け「未来への道標（みちしるべ）」としてまとめました。これらについては、着実な事業推進により徐々に成果が出始めていますが、いまだ解決すべき課題や新たな課題も残されており、さらなる取組みが求められています。

特に「治安・学力・健康・貧困の連鎖」の 4 つを区のボトルネック的課題（区の発展のためにどうしても打開しなければならない課題）と位置付け、全庁横断的な取組みを進めています。都市機能面の評価が徐々に高まりつつある当区ですが、マイナスイメージの固定化が、区民意識や民間の経済活動などに与えるダメージは計り知れないからです。

●教育の質の向上による小・中学生の基礎学力の向上

全国的に基礎学力の低下が指摘されてきましたが、足立区では他の自治体と比較し学力定着度が低いという課題がありました。学力調査の分析をもとにきめ細やかな学習指導や教員の授業力向上を図った結果、小学生の基礎学力の向上に大きな成果があらわれてきており、取組みを継続しています。一方、中学生については、若干の向上が見られるにとどまるため、さらなる取組みが必要です。

●「おいしい給食」による子どもの食生活習慣の改善

自然の恵みや作り手への感謝の気持ちを育み、バランスよく食べることの重要性や栄養に関する知識を学ぶ機会づくりとして「おいしい給食」を推進してきました。その結果、平成 20 年度には 341 t あった残菜量が平成 26 年度には 162 t と半減し、残菜率も小学校で 7% から 3.1% へ、中学校で 13% から 7.1% へと改善しました。

●「子どもの貧困対策」に着手

子どもの相対的貧困率が高い我が国では、平成 26 年 1 月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を施行しました。

区でも、平成 27 年度を「子どもの貧困対策元年」として位置づけ、全庁的な取組みをスタートしました。「貧困」そのものよりも、親・子・孫と世代が変わ

っても貧困状態から脱却できない「貧困の連鎖」がより根深い問題であるという認識のもと、「子どもの貧困対策実施計画」を策定しました。これをもとに、出産前からライフステージごとにきめ細かな、かつ早め早めの対策を打っていきます。

今後は、子どもたちが貧困の連鎖に陥らないよう、養育困難家庭の早期発見、多様な放課後の居場所づくり、高校中退の予防など、若年者や保護者に対する支援を着実に進めていくことが必要です。

●「ビューティフル・ウィンドウズ運動」による治安の改善

「割れ窓理論（ブローケン・ウィンドウズ）」を参考に、『「美しいまち」は「安全なまち』』を合言葉に犯罪抑止を図る「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を平成 20 年度から実施しました。平成 21 年度には警視庁生活安全部と「治安再生事業に関する覚書」を取り交わし、さらに、平成 26 年度には区内 4 警察署とも協定を締結しました。「ビューティフル・パートナー」を中心に、区民や地域が一丸となって運動に取り組んだ結果、刑法犯認知件数はピーク時（平成 13 年）の 16,843 件から平成 27 年には 6,939 件と、大幅に減少しました。また、世論調査では平成 25 年度以降、居住地域の治安状況について「良い」と感じる人の割合が「悪い」と感じる人の割合を上回り、区民の体感治安が改善されました（平成 27 年度は、「良い」が 51.5%、「悪い」が 27.9%）。

しかしながら、区外からの治安イメージは、区民の体感治安ほど改善されていない状況です。今後も引き続き区民総ぐるみの運動を継続し、さらに犯罪件数を減少させていくことが必要です。

●「孤立ゼロプロジェクト」による地域での見守り体制の充実

核家族化やコミュニティの希薄化等により地域の中で孤立する高齢者が増えている問題に対応するため、平成 25 年 1 月から「孤立ゼロプロジェクト」を推進し、町会・自治会、民生・児童委員による高齢者の実態把握や地域包括支援センターと連携した「絆のあんしん協力員」による見守り・声かけ体制の充実に図りました。平成 27 年 11 月末現在、1,010 名が「絆のあんしん協力員」として登録され、平成 27 年 10 月末までに 733 世帯が孤立の恐れのある状態から脱却しました。

超高齢社会が進展する中で、足立区では今後 10 年間で後期高齢者が約 3 万人増加することが見込まれます。高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築が必要です。

●「糖尿病アクションプラン」による健康づくりの推進

足立区民の健康寿命は、都や全国に比べると約2歳短くなっています。健康寿命の延伸に向けて、「糖尿病アクションプラン」を策定し、糖尿病の予防と重症化を防ぐ取組みを行っています。また、「ベジタベライフ運動」や「野菜を食べよう」プロモーション活動などにより、野菜を食べやすい環境づくりを進めてきました。

糖尿病の重症化を予防するためには、一人ひとりの健康管理意識を向上させるとともに、健康づくりに向けた継続的な取組みの展開が必要です。それにより、今後予測される社会保障費の増加を抑制することも期待されます。

●区内経済の活性化

区内で製造される優れた製品や巧みな技術などを有する企業を「足立ブランド企業」と認定し、見本市への出展や販売会を実施することで販路を拡大しました。また、新技術の研究に対して助成する「ニュービジネス支援事業」による企業の成長・区内定着を促進し、事業者同士の交流や技術提携にもつながっています。

今後は、区内にとどまらないグローバルな企業への成長を支援していくとともに、地元中小企業による雇用の創出や地産地消のさらなる推進など、区内経済をさらに活性化させていくための取組みが必要です。

●新たな魅力の創出に向けた「エリアデザイン」

エリアデザイン地域に指定することで、大規模な区有地等の利活用について区内外に広く発信し、民間活力の導入を推進してきました。

千住エリアでは、東京電機大学などの教育施設が多数立地し、エリア全体のにぎわいの創出につながりました。これをモデルとして、花畑エリアにおける大学教育施設の誘致、江北エリアへの医療施設の移転など、核となりえる施設の誘致を進めています。さらに、綾瀬、六町のエリアについても、エリアデザイン計画の変更・策定に取り組んでいます。

今後は、竹の塚、西新井・梅島などの未着手エリアについて、その地域の良さを最大限に引き出せるよう、引き続き取り組んでいくことが必要です。

●「シティプロモーション」による発信力の向上

足立区のイメージアップ戦略を進めるため、23区初のシティプロモーション課を創設（平成22年度）し、民間からの人材を登用。チラシやポスター等の情報発信ツールの質を高めることをはじめ、「伝える力」の向上に力点を置き、区政の透明性を高めてきました。その結果、世論調査における「足立区を誇りに思う区民の割合」が、平成22年度の29.8%から平成26年度には49.4%まで上昇しました。転入者数が転出者数を上回る社会増が、平成22年の3,249人から

平成 26 年には 6,218 人に増加していることも、シティプロモーションの効果の一つと言えます。

今後も、区内外からのイメージアップを図るため、新たなイメージを創出し発信していくことが求められています。

●区内5大学による大学連携の推進

区内に高等教育・研究機関が少ない点も、学習環境の不十分さの一つとして指摘されてきたため、千住エリアにおいて積極的に大学を誘致した結果、キャンパスの拡大にもつながってきました。また、区内5大学の学術的な資源を活用して、小・中学校を対象とした各種体験教室、区内産業との共同研究による技術力向上など、様々な連携による成果をあげています。さらに、学長会議を発足し、区との連携のみならず、大学間の連携を進めてきました。

今後は、大学と地域との連携を発展させ、地域課題の解決にともに取り組むなど、世代を超えて幅広く区民が恩恵を受けられるような連携事業を展開していくことが期待されています。

2 足立区を取り巻く社会情勢の変化

(1) 足立区を取り巻く厳しい社会情勢

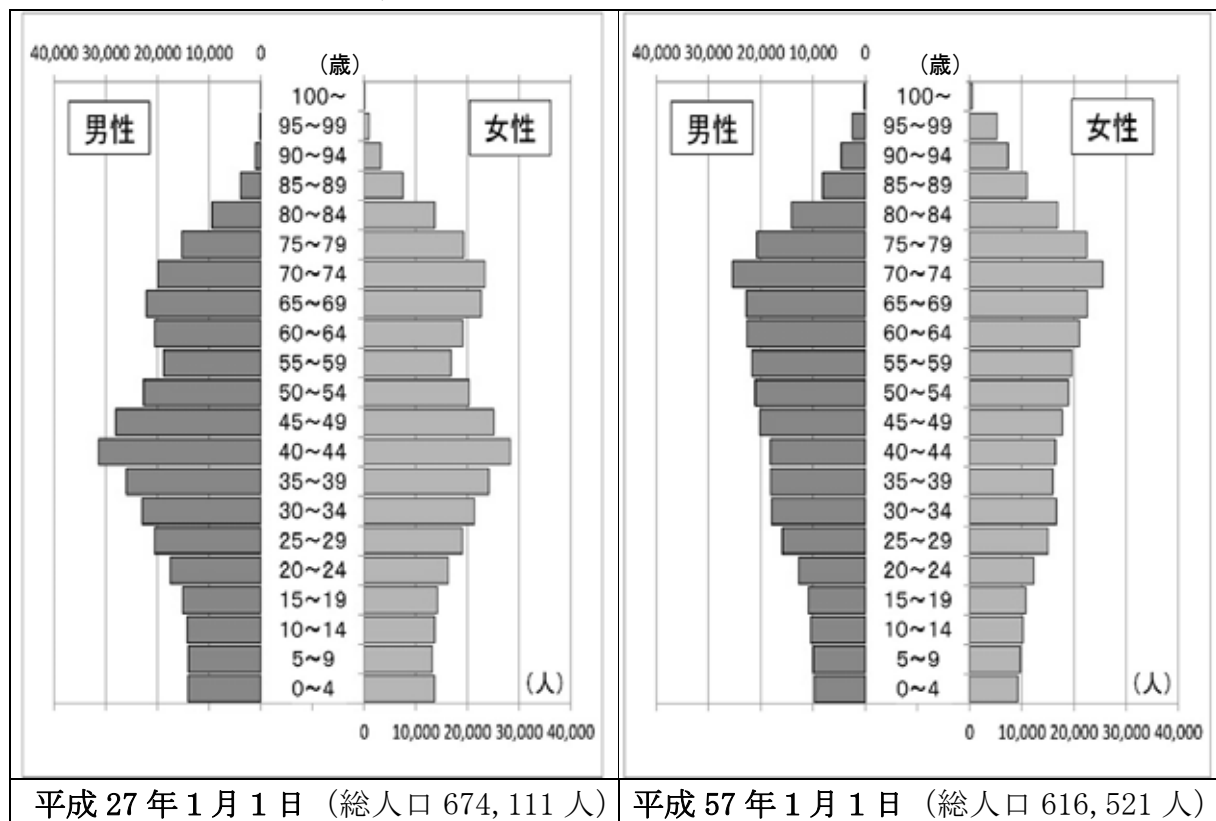
●人口減少、少子・超高齢社会がさらに進展します

足立区の人口は、現状ではやや増加傾向にあるものの、平成 27 年に実施した将来人口推計（中位推計）によると、少子化や高齢化が進み、長期的には平成 32 年の 68.3 万人をピークに減少に転じるとされています。

また、この基本構想で想定している 30 年間で、高齢者 1 人を 2.6 人で支える騎馬戦型から 1.7 人で支える状況へと変化し、肩車型に近づいていくことが予想されます（表 1）。特に 75 歳以上の後期高齢者数は、平成 27 年と比較して 30 年後の平成 57 年は約 1.5 倍に、さらに平成 72 年には約 1.7 倍にまで伸びることが見込まれます（表 2）。

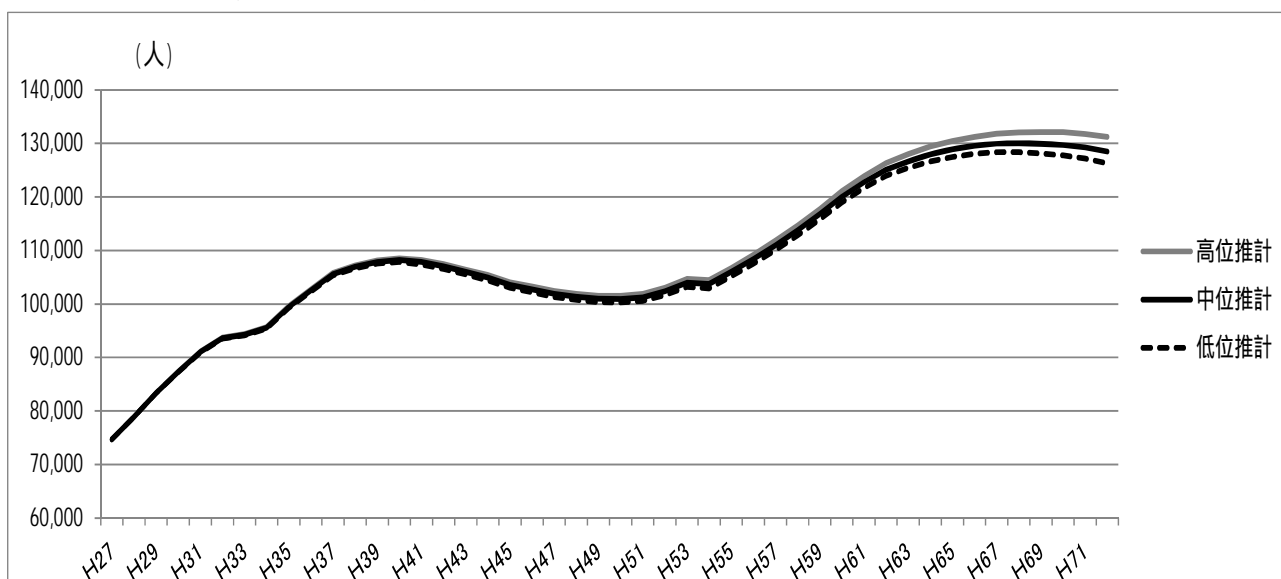
人口減少、少子・超高齢社会の進展は、労働力人口、すなわち担税力のある世代が減少する一方で、介護を必要とする高齢者などが急増することを意味します。このような人口構成の偏りは、扶助費の増加や税収の減少を通じて財政面に大きな負担をもたらします。

(表 1) 人口構造の変化予測



30 年後に約 8.5% 減

(表2) 後期高齢者数の将来推計



●あらゆる面での多様化が進む一方で、地域への帰属意識が低下します

以前から、価値観やライフスタイルの多様化が言われていますが、近年、働き方の選択肢の拡大、結婚や家庭に対する考え方や行動の変化、外国人住民の増加など、家庭・生活・文化等に関わる様々な面での多様化が進んでいます。

また、地域への帰属意識の低下が顕著となっており、コミュニティの希薄化につながっています。

●「貧困の連鎖」による格差のさらなる拡大が懸念されます

生活保護受給者数が大幅に増加するとともに、ひとり親や外国人家庭のうち低所得の世帯など、生活に困窮する世帯も増加しています。家庭の経済的な格差から子どもの教育格差が生じ、さらには非正規雇用や無業による生活困窮など、格差の再生産と固定化による貧困の連鎖が当区でも大きな課題となっています。

●防災・減災に向けた対策と区民の意識啓発に取り組む必要があります

平成23年3月に未曾有の大被害をもたらした東日本大震災は、災害に強い安全なまちづくり事業を強化するきっかけとなりました。同時に「自らの生命は自らが守る」といった一人ひとりの防災意識を高めるとともに、家族や地域の絆の大切さを再認識する機会にもなりました。

足立区では、復興税を活用して建築物耐震化や橋梁の耐震補強、町会・自治会への消火資器材の増配備などを進めてきましたが、今後も様々な耐震化事業の促進や感震ブレーカの普及などに取り組む必要があります。また、「災害時の死者ゼロ」を目指して「足立区地域防災計画」の見直しを毎年行っていますが、発

生可能性の高い首都直下型地震に備え、大震災の経験を風化させることのないよう防災・減災に向けた意識啓発に継続して取り組む必要があります。

●地球規模で環境問題が深刻化しています

温室効果ガスによる地球の温暖化、オゾン層の破壊、廃棄物等の海洋投棄による海水汚染など、様々な環境問題が地球規模で広がっています。足立区では、綾瀬川などの水質改善の成果が出ていますが、家庭でのCO₂排出量が増加傾向にあるなど改善に向けて取り組むべき課題も残されています。

足立区が掲げている「地球にやさしいひとのまち」を目指して、一人ひとりがグローバルな視点で考え、身近なところから環境対策に取り組む姿勢が求められています。

●公共施設の一斉更新や再編などの見直しが求められています

足立区では、公共施設の約66%が築30年以上を経過しており、そのうちの約74%は学校施設となっています。扶助費の増加等による財政制約が強まる状況の中、これらの更新・改修を計画的に行っていかなければなりません。また、区内全域に均一的に整備された公共施設に対して、人口動向や区民行動の変化により区民ニーズも変わってきており、地域の実状に応じた公共施設の再編も求められています。

(2) 足立区が迎えるチャンス

●2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック

2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定しました。東京都では、オリンピック・パラリンピック教育を通じた人材育成と多様性を尊重する共生社会づくり、大会による経済効果の最大限の活用などを打ち出しています。

足立区でも区内全体の活性化につながるよう、まちづくり面・教育面での「オリンピック・パラリンピックのレガシー」を見定め、区民や民間企業との連携による取り組みやグローバルな視点を持った人材育成が期待されます。

●さらなる交通利便性の向上

つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナーの開業による鉄道網が充実し、さらに地下鉄8号線（有楽町線）の区内延伸に取り組んでいます。今後は、都市計画道路の整備による道路網の拡充やコミュニティバスの路線の見直し等により、比較的脆弱である東西方向の交通網の充実を図りつつ、区内全域における交通利便性のさらなる向上が求められています。

そのため、区の強みである都心に近い立地と交通利便性を活かし、若者・子

育て世代の定着や企業誘致、創業支援などに総合的に取り組み、人口構成のバランスの維持に努めるとともに区内経済の活性化につなげていくことが期待されます。

●エリアデザインの推進と大規模団地の建替え等による余剰地の活用

エリアデザインでは、7つのエリアを対象とし、現在は、綾瀬、六町、江北エリアの取り組みを進めています。

また、区内には、都営住宅やUR住宅などの大規模団地が点在しており、いずれも老朽化による建替え時期を迎えています。また、今後は人口減少と同時に少子化が進み、学校の適正配置の検討も必要となります。団地の建替えにより生じる余剰地や学校の空き教室・跡地、ならびに戸建空き家・跡地の活用は、まちを変革する大きなチャンスです。

これらの好機を活かすため、それぞれの地域特性やニーズに合わせて、民間活力を導入しながら開発や整備を進めることで、新たな魅力の創出が期待されます。

第2章 足立区が目指す「将来像」

1 将来に向けた課題と解決の方向性

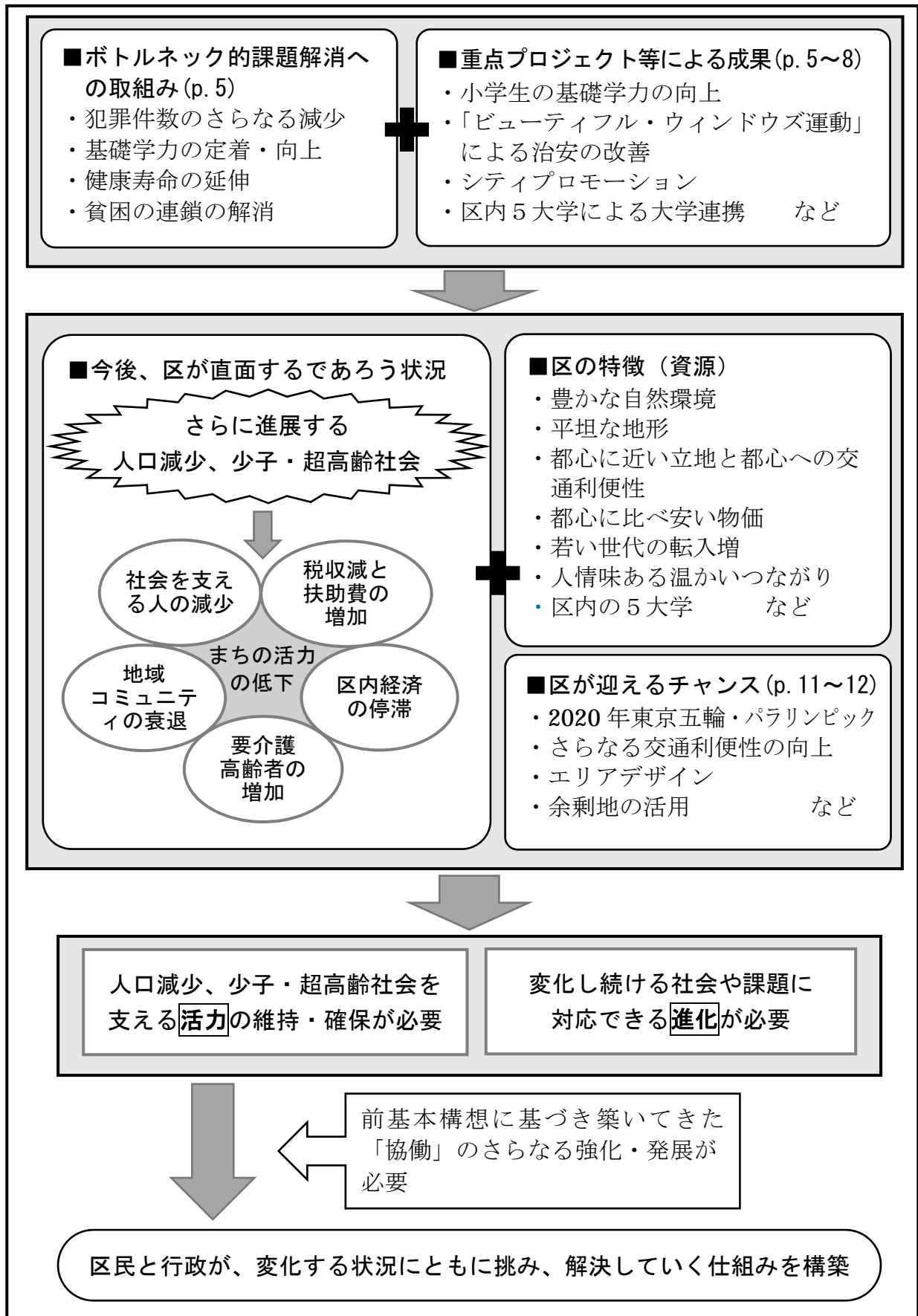
第1章で示したように、足立区では、前基本構想で描いた将来像を実現するための様々な取組みを進め、一定の成果をあげてきました。その結果、若い世代を中心に転入者数が増加傾向にあります。また、都心に比べて物価が安いことに加え、治安の改善や公共交通の充実により住みやすさが向上していること、エリアデザインによる新たな魅力の創出、シティプロモーションによる発信力の向上などにより、くらしやすさに関して区内外からの評価が高まりつつあり、今後の足立区の強みとなりえる特徴や資源が生まれています。

一方で、今後迎える人口減少やさらに進展する少子化や超高齢社会により、地域を支える人の減少と負担感の増加、要介護高齢者など支援を必要とする人の増加が予測されます。また、それに伴い、地域コミュニティの希薄化、消費行動の縮小などによる区内経済の停滞、税収減と扶助費増や公共施設の一斉更新による財政負担など、様々な厳しい状況が生じることが予想され、区全体の活力が低下することが懸念されます。また、依然として、犯罪件数のさらなる減少、基礎学力の定着・向上、健康寿命の延伸、貧困の連鎖を断つことが、区が克服すべきボトルネック的課題として残されています。

今後、足立区が直面する上記のような課題や変化を克服していくためには、人口減少、少子・超高齢社会を支えるための「活力の維持・確保」とともに、変化に柔軟に対応できる「進化」が求められます。

そのためには、前基本構想に基づき築いてきた、これまでの主に行政主導による「協働」を強化・発展させ、区民と行政がともに解決に向けて行動するための新たな仕組みの構築が不可欠です。

図1 将来に向けた課題と解決の方向性



2 将来像を設定する基本的な考え方

前述のような将来に向けた課題と解決の方向性を踏まえ、目指すべき将来像を設定するため、区民と行政が共有すべき基本的な考え方を以下のようにまとめました。

足立区では、前基本構想の基本理念や自治基本条例に基づき、「協働」による取組みを進めてきました。これまでの「協働」では、区民と行政が同じ方向を目指し、主に行政から区民や地域、団体に呼びかけや依頼を行い、協力・連携する形が多く見られましたが、「協働」の考え方が浸透するにつれ、区民や民間事業者と行政がパートナーシップにより取組む事業や、区民主体の取組みが展開されるようになりました。

一方、人口減少、少子・超高齢社会の進展による社会構造の変化に伴い、人々の価値観が多様化するとともに、地域社会の担い手が不足してきています。その結果、地域課題はますます複雑化・困難化し、これまでの主に行政主導の「協働」だけでは対応が難しくなっています。

このような時代の変化から生じる課題を「活力」と「進化」をもとに克服し、持続可能なまちを築き上げるためには、多様な個が夢や希望に向かってチャレンジすることで輝くだけでなく、互いの個性や価値観を認めあい、ゆるやかにつながり支えあうことで、より一層力を発揮できる新たな仕組みが必要です。私たちはこの仕組みを『協創』と呼びます。

「協創」とは

変化し続ける社会や課題に、足立区を挙げて対応し解決していくための根本となる仕組みです。

「協創」をしっかりと機能させるために行政は、方向性を示して主体的に取組むこれまでの役割に加え、個々の目的を持った多様な主体をつなげるコーディネーター役をも担うことが求められます。

「協創」により、区民・地域・事業者・団体・行政等、それぞれの想いや力が重なりあい、互いの役割を果たすことで、地域課題を解決していく「力」、ともにまちを創り動かしていく「力」、すなわち「協創力」が生まれます。

「協創力」は、未来に向けて踏み出す第一歩となるとともに、区を取り巻く社会状況の変化に柔軟に対応するために必要なエンジンとなります。

3 目標とする足立区の将来像

今後 30 年間を見据えて、足立区に関わる人々やその人々の暮らしを支える区が目指す姿を以下のように掲げます。

**協創力をつくる
活力にあふれ 進化し続ける
ひと・まち 足立**

「活力」とは

持続可能な社会を支えるための力であるとともに、進化していくためのエネルギーでもあります。

「活力」には、区民一人ひとりの活力、まちの活力、行政の活力、つながりや新しい動きから生まれる活力など、様々な形があります。「活力」は、多様な人々や団体などが、ゆるやかにつながることで生み出される「協創力」によって一層増大します。まちに「活力」があふれることで人やモノが自然と集積し、つながり、新しい動きが巻き起こります。それが、まち全体の活力として足立区を動かし、「進化」へとつながるエネルギーとなります。

「進化」とは

今後起こりえる様々な変化に柔軟に対応し、課題を克服し、危機的状況を乗り越えていくことです。

「進化」には、一人ひとりの成長、人と人とのつながりの深まり、まちの発展、行財政の改革など、様々な形があります。「活力」によって、人やまち、行政が進化し、より幅広い多様性の受容が進み、刻々と変化する状況への対応力が高まります。

「協創力」によって呼び起こされた新たな「活力」が、さらなる「進化」を生み出す、というプラスのスパイラルにより、「進化」はより深まります。

図2

足立区の将来像

協創力でつくる
活力にあふれ 進化し続ける
ひと・まち 足立



第3章 将来像の実現に向けた4つの視点 (基本的方向性)

足立区では多くの人々が住み・働き・学び・活動し、日々の暮らしを営んでいます。将来像の実現に向けたまちづくりに求められる視点としては、まず、日々の暮らしの主演であり、まちづくりの担い手でもある「ひと」がいて、その人々が営む日々の「暮らし」があり、その暮らしが展開される舞台となる「まち」があります。さらに、「ひと」「暮らし」「まち」を支える「行財政」が必要となります。

ここでは、足立区の将来像を実現するために、「ひと」「暮らし」「まち」「行財政」の視点からどのように取り組むべきか、という基本的方向性を整理します。

視点1 【ひと】多様性を認めあい、夢や希望に挑戦する人

【ひと】を育む基本的方向性

●自己肯定感を持ち、笑顔で健やかな子どもを育てる

一人ひとりが自身の道を歩んでいける力を身につけるために、幼い頃から自分を大事にする心を育み、自己肯定感を培っていきます。

また、経済的な状況などにかかわらず、子どもが心身ともに健やかに成長するために、保護者や子ども自身が孤立することがないように、地域や学校などと連携し、切れ目なく支えていきます。

●自分の可能性を広げ、培った力を地域に還元する人を育てる

それぞれが夢や希望に挑戦できるように、一人ひとりの持っている可能性を引き出し、その成果を地域に活かしていくことが必要です。

そのため、年代に応じた学びや経験を通して、主体的に考え行動し、互いの個性を認めあい、地域に還元できる人を育みます。

視点2 【くらし】人と地域がつながる 安全・安心なくらし

【くらし】を実現する基本的方向性

●いくつになっても住み続けられる地域をつくる

住み慣れた場所で安心して暮らし続けるためには、一人ひとりが健康であることに加えて、多様な世代とつながり支えあえることが必要です。そのため、地域の交流を促し、趣味や価値観を同じくする人同士によるコミュニティや、身近な地域の中に心地よい居場所を設けるなど、きめ細やかなサポート体制を構築していきます。

●くらしに関わる様々な課題を地域とともに解決する

治安や自然災害など、くらしの中の様々なリスクについては、行政や専門機関による対策をより強化し、多様な人や地域、ボランティア組織等とのネットワークによる備えを充実させていきます。

また、地球温暖化などの環境問題については、区民や事業者などが当事者意識を持って日常的に取り組めるよう働きかけていきます。

視点3 【まち】真に豊かな生活を実現できる 魅力あるまち

【まち】を築く基本的方向性

●地域の個性を活かし、誰にとってもくらしやすい都市基盤を整備する

水や緑と広い空、下町情緒のある路地、都心にもアクセスしやすい交通利便性など、区内各地域にはそれぞれの良さがあり、様々な可能性を秘めています。地域の特長を活かし、誰もが住みたいと思えるような、人に優しいまちづくりを進めていきます。

●活力とにぎわいにあふれるまちをつくる

まちに活力とにぎわいをもたらすために、区内の中小企業や大学など、多様な主体と連携し、地域経済活動が一層活性化する取組みを進めていきます。

また、この取組みから生まれた新たな視点や発想により、区の魅力を創り、磨き、育み、積極的に区内外にアピールしていきます。

視点4 【行財政】 様々な主体の活躍と

まちの成長を支える行財政

【行財政】を進める基本的方向性

●多様な主体による「協働・協創」を促進する

個々の目的を持って活動する区民・事業者・大学・団体など様々な主体が、まちを創り動かしていく主役として活躍できるよう、これまでの協働に加えて、新たな協創の仕組みづくりを構築します。

また、「協働・協創」により、変化し続ける社会や課題に対して、区を挙げて解決に向けて取組み、区民が誇りを持てる地域づくりを展開していきます。

●次世代につなげる行財政運営を行う

区が活力にあふれ進化し続けるために、区民ニーズを的確に把握し、常に必要な施策を戦略的かつ効果的に展開していきます。

また、将来の財政状況を見極めるとともに、次世代への過度な負担を極力減らし、限られた資源や人材を有効に活用しながら次世代につなげる健全な財政運営を進めていきます。

おわりに 基本構想の実現のために

～未来に向けた協創の構築を～

足立区に暮らす人々が「このまちで暮らせて良かった」と心から思い、真の豊かさを実感するために、基本構想において、区の将来像「協創力でつくる 活力にあふれ進化し続ける ひと・まち 足立」を掲げました。

今後直面する課題や困難を克服し、将来像を実現していくためには、区民と行政との従来の協働に加え、区民自らが考え行動を起こし、互いに連携しあう「協創」が期待されます。

基本構想の実現に向け、区政に対して、以下のとおり、協創の構築をはじめとする取組みを求めます。

●協創体制の早期構築

行政は、多方面にわたる区民主体の活動を積極的に支援するとともに、それぞれが連携を密にすることでより効果的な活動が展開されるよう、これまで担ってきた役割に加え、情報発信や情報共有などのコーディネート機能を最大限に発揮し、協創体制を構築することを求めます。その実現に向け、特に初期段階での区のリーダーシップを求めます。

●自立し、多様性を認めあえる人材育成

年齢の違い、障がいの有無や国籍の違いなどにかかわらず、一人ひとりがあるがままに受け入れられ、尊重される地域社会が求められています。そのためには、子どもから高齢者まで、誰もが夢や希望の実現に向け、自立して生活でき、真にたくましく生き抜く力を身につけるとともに、多様性を受容し世界に開かれた視野を持つ人を育む施策の充実を求めます。また、区の宝である子どもたちの笑顔や夢を第一に考え、親だけでなく様々な人が子育てや教育に関われる地域社会や体制の実現を求めます。

●誰もが健康で活躍できる、バランスの良い人口構成の維持

持続可能な足立区であるためには、人口減少、少子・超高齢社会においても年少人口及び生産年齢人口の構成バランスを適切に維持していけるよう、できる限り努めていくことが必要となります。そのためには、将来のくらしや子育てに対する不安を払拭するための様々な対策を講じ、子どもを産み育てやすい

環境の充実や切れ目のない支援など、足立区生まれの区民を増やしていくための取組みが不可欠です。また、都心からも近く、複数の大学が立地している状況を活かし、ソフト・ハード両面から若い世代が転入しやすいまちづくりを進め、若年層や子育て世代の定着・定住を図ることが望まれます。さらに、あらゆる世代を通じた健康づくりを推進し、高齢者がいくつになっても元気で活躍できるようなまちの実現を求めます。

●計画的かつ戦略的な行財政運営

担税力のある世代の減少による税収減や、支援が必要な高齢者の増加による扶助費増などにより、今後はさらに厳しい財政状況が予測されます。そのため、長期的な視点から効果的な取組みを見定め、計画的かつ戦略的な施策を展開することで、メリハリをつけて限られた資源や人材を有効に活用していくことを求めます。

●基本計画の策定と着実な推進

この基本構想は、様々な年代の区民の思いを踏まえて、30年後を見据えて描いた将来像を示しています。この将来像を実現するためには、この基本構想に基づき、具体的な施策や事業を取りまとめた「基本計画」を策定するとともに、その基本計画の着実な推進が必要です。

今後直面することが予測される困難な状況を乗り越えるためにも、変化していく社会情勢や区民ニーズを的確にとらえながら、着実かつ柔軟に基本計画を推進していくことを求めます。

資 料

- ◎ 足立区基本構想審議会委員名簿・・・・・・・・・・ 26
- ◎ 足立区基本構想審議会審議経過・・・・・・・・・・ 28
- ◎ 足立区基本構想審議会条例・・・・・・・・・・ 30
- ◎ 足立区基本構想審議会条例施行規則・・・・・・・・ 32
- ◎ 足立区基本構想審議会公開要綱・・・・・・・・・・ 34
- ◎ 参考 各専門部会 検討結果・・・・・・・・・・ 36
- ◎ 参考 区民あだちサロン 及び
中学生・高校生ワークショップ
「私たちの考える足立区の将来像」・・・・ 44

足立区基本構想審議会委員名簿 (全39名)

氏 名	所属・役職 等	専門部会	備 考
牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授	—	会 長
田中 充	法政大学社会学部長	まちづくり	副会長、 部会長
村上 祐介	東京大学大学院教育学研究科准教授	子ども	部会長
石阪 督規	東京未来大学モチベーション行動科学部教授	くらし	部会長
田中 隆一	東京大学社会科学研究所准教授	経営改革	部会長
有馬 康二	足立区町会・自治会連合会会長	まちづくり	副部会長
足立 義夫	足立区商店街振興組合連合会代表理事	経営改革	副部会長
須藤 秀明	一般社団法人 足立区医師会会長	くらし	
乾 雅榮	足立区女性団体連合会会長	まちづくり	
吉田 修一	西新井防犯協会会長	まちづくり	
小久保 兼保	足立区障害者団体連合会会長	くらし	副部会長
野辺 陽子	足立区民生・児童委員協議会第五合同会長、鹿浜地区会長	子ども	副部会長
河本 孝美	足立区立小学校PTA連合会副会長	子ども	
小林 雅行	足立区立中学校PTA連合会副会長	子ども	
田中 忠穂	東京スマイル農業協同組合代表理事副組合長	まちづくり	
近藤 勝	東京商工会議所足立支部副会長	経営改革	
鈴木 健文	連合東京東部地域協議会足立地区協議会副議長	くらし	
石橋 穠治	公 募 委 員	経営改革	
大塚 和夫	公 募 委 員	くらし	
北川 千恵子	公 募 委 員	経営改革	
志自岐亜都子	公 募 委 員	子ども	
白根澤 正士	公 募 委 員	まちづくり	

長谷川 浩一	公 募 委 員	まちづくり	
早木 美恵	公 募 委 員	子ども	
益留 有紀	公 募 委 員	くらし	
鴨下 稔	足立区議会議員	まちづくり	
吉岡 茂	足立区議会議員	まちづくり	
渡辺ひであき	足立区議会議員	子ども	
馬場 信男	足立区議会議員	くらし	
ただ 太郎	足立区議会議員	経営改革	
たがた 直昭	足立区議会議員	くらし	
長井まさのり	足立区議会議員	まちづくり	
岡安 たかし	足立区議会議員	子ども	
くぼた 美幸	足立区議会議員	経営改革	
ぬかが 和子	足立区議会議員	経営改革	
鈴木けんいち	足立区議会議員	子ども	
おぐら 修平	足立区議会議員	くらし	
石川 義夫	副 区 長	経営改革	
定野 司	教 育 長	子ども	

※備考の分類について

- ・「会 長」 = 足立区基本構想審議会会長
- ・「副 会 長」 = 足立区基本構想審議会副会長
- ・「部 会 長」 = 各専門部会の部会長
- ・「副部会長」 = 各専門部会の副部会長

※専門部会別の人員

- ・子ども専門部会 : 10名
- ・くらし専門部会 : 9名
- ・まちづくり専門部会 : 10名
- ・経営改革専門部会 : 9名

足立区基本構想審議会審議経過

No.	会議名	日程	主な議題
1	第1回基本構想審議会 〈全体会〉	H27.7.27 午前	1 委嘱式 2 諮問 3 検討素材・概要説明
2	第2回基本構想審議会 〈全体会〉	H27.8.5 午前	1 検討素材・全体説明 2 区の取組みの成果・説明 3 現状と将来の課題について意見交換
3	第3回基本構想審議会 〈全体会〉	H27.8.31 午後	1 区民あだちサロン、中・高生ワークショップ（7月実施）における意見や将来像等の報告 2 今後取組むべき課題について意見交換 3 各専門部会に調査研究を付託
4	第1回 くらし専門部会	H27.9.14 午前	1 現状と将来の課題について意見交換
5	第1回 子ども専門部会	H27.9.15 午後	1 現状と将来の課題について意見交換
6	第1回 まちづくり専門部会	H27.9.17 午前	1 現状と将来の課題について意見交換
7	第1回 経営改革専門部会	H27.9.24 午後	1 現状と将来の課題について意見交換
8	第2回 まちづくり専門部会	H27.9.25 午前	1 人口推計の報告 2 将来像、基本理念の考案
9	第2回 くらし専門部会	H27.9.28 午前	1 人口推計の報告 2 将来像、基本理念の考案
10	第2回 子ども専門部会	H27.9.29 午前	1 人口推計の報告 2 将来像、基本理念の考案
11	第2回 経営改革専門部会	H27.10.22 午後	1 人口推計の報告 2 将来像、基本理念の考案
12	第3回 まちづくり専門部会	H27.10.23 午前	1 将来像、基本理念のまとめ
13	第3回 くらし専門部会	H27.10.26 午前	1 将来像、基本理念のまとめ

14	第3回 子ども専門部会	H27.10.26 午後	1 将来像、基本理念のまとめ
15	第3回 経営改革専門部会	H27.11.5 午後	1 将来像、基本理念のまとめ
16	第4回基本構想審議会 〈全体会〉	H27.12.2 午前	1 各専門部会の調査研究結果を 報告 2 答申の章立て、骨子について 検討
17	第5回基本構想審議会 〈全体会〉	H27.12.24 午後	1 基本構想・答申のまとめ
18	第6回基本構想審議会 〈全体会〉	H28.2.4 午前	1 基本構想・答申のまとめ
19	第7回基本構想審議会 〈全体会〉	H28.2.25 午前	1 区長に答申

足立区基本構想審議会条例

(設置)

第1条 足立区自治基本条例(平成16年足立区条例第48号)第12条に基づき総合的かつ計画的な行政の運営を図り、区民との協働により新たな足立区基本構想を策定することに関し必要な事項を調査審議するため、区長の附属機関として足立区基本構想審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、区長の諮問に応じ、足立区基本構想の策定に関し必要な事項を調査審議し、その結果を区長に答申する。

(組織)

第3条 審議会は、区長が委嘱又は任命する委員39人以内をもって組織する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、前条の規定により区長が委嘱又は任命した日から第2条の規定により区長に答申する日までとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(招集)

第6条 審議会は、会長が招集する。

(定足数)

第7条 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(会議の公開)

第8条 審議会は公開とする。ただし、会長が公開することが適当でないときは、この限りでない。

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(審議会の招集の特例)

2 第6条の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて行われる足立区基本構想審

議会は、区長が招集する。

(足立区附属機関の構成員の報酬および費用弁償に関する条例の一部改正)

- 3 足立区附属機関の構成員の報酬および費用弁償に関する条例(昭和39年足立区条例第17号)の一部を次のように改正する。

別表区長の部に次のように加える。

足立区基本構想審議会	日 額	7,000円
------------	-----	--------

- 4 この条例は、平成29年3月31日をもって廃止する。

足立区基本構想審議会条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、足立区基本構想審議会条例（平成26年足立区条例第71号。以下「条例」という。）第9条の規定に基づき、足立区基本構想審議会（以下「審議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 条例第3条に規定する委員は、次の各号に掲げる者につき、区長が委嘱又は任命する。

- | | |
|--------------------|-------|
| (1) 区議会議員 | 12人以内 |
| (2) 区内在住、在勤又は在学する者 | 8人以内 |
| (3) 区内関係団体の構成員 | 12人以内 |
| (4) 学識者 | 5人以内 |
| (5) 区に勤務する職員 | 2人以内 |

2 前項(2)に掲げる区内在住、在勤又は在学する者は、公募とする。

(専門部会)

第3条 審議会は、審議の効率的な運営を図るため、専門部会を置くことができる。

2 専門部会の委員は、前条に規定する委員のうちから会長が指名する。

3 専門部会は、審議会から付託された事項につき調査研究を行う。

(部会長及び副部会長)

第4条 専門部会に部会長及び副部会長を置く。

2 部会長及び副部会長は、専門部会の委員の互選によりこれを決める。

3 部会長は、専門部会を招集し、議事を整理する。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(関係者の意見聴取)

第5条 審議会及び専門部会は、必要があると認めるときは、学識者その他の関係者の意見を聞き、助言を求めることができる。

2 前項の規定による学識者その他の関係者の招集は、会長が行う。

(説明員の出席要求)

第6条 会長及び部会長は、区に勤務する職員に対し、事案に関し説明させ、又は意見を述べさせるため、審議会及び専門部会への出席を求めることができる。

(表決)

第7条 審議会の議事は、会長を除く出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会

長の決するところによる。

(会議の公開)

第8条 条例第8条に規定する審議会の公開方法及び手続その他必要な事項は、会長が別に定める。

(会議録)

第9条 会長は、会議録を作成し、これを保存しなければならない。

(庶務)

第10条 審議会及び専門部会の庶務は、政策経営部政策経営課において処理する。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

付 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成29年3月31日をもって廃止する。

足立区基本構想審議会公開要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、足立区基本構想審議会条例施行規則（平成27年足立区規則第1号。以下「規則」という。）第8条の規定に基づき、足立区基本構想審議会（以下「審議会」という。）の公開に関し必要な事項を定めるものとする。

(開催周知)

第2条 審議会の開催は、公開、非公開にかかわらず、原則として会議開催日の1週間前までに区民に対し当該審議会の開催に係る事項を周知するものとする。周知後に周知した内容に変更が生じた場合も同様とする。

2 周知の内容は、審議会の日時、場所、傍聴手続その他必要な事項とする。

(傍聴券)

第3条 会議を傍聴しようとする者は、傍聴券の交付を受けなければならない。

2 傍聴券の交付を受けた者は、交付された日に限り傍聴することができる。

(傍聴人)

第4条 傍聴人が入退場するときは、指定の出入口で係員に氏名を申し出なければならない。

2 傍聴人の定員は10人以内とし、先着順とする。

3 次に該当する者は、審議会を傍聴することはできない。

(1) 審議会の妨害になると認められる器物等を携帯した者

(2) 酔^{めいてい}酩している^{めいてい}と認められる者

(3) その他、会長が傍聴を不相当と認める者

4 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次の事項を守らなければならない。

(1) 拍手その他の方法で、自己の意思表示をしないこと。

(2) 議事の進行を妨げる音又は声をたてないこと。

(3) その他、会場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

5 傍聴人は、傍聴席において写真、映画、ビデオ等の撮影等をしてはならない。

6 傍聴人は、全て係員の指示に従わなければならない。

7 会長が審議を非公開とすることを宣告したときは、傍聴人は、係員の指示に従い、速やかに退場しなければならない。

8 傍聴人がこの要綱に違反し、係員の指示に従わないときは、会長がこれを退場させることができる。

(会議録)

第5条 会長は、規則第9条の規定に基づき作成した会議録及び会議資料を区民の閲覧に供することとする。

2 会議録には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

(1) 議題及び議事概要

- (2) 出席した委員の氏名
- (3) その他議長が必要と認めた事項

付 則 (27足政基発第31号 平成27年7月1日 政策経営部長決定)
この要綱は、決定の日から施行する。

足立区基本構想審議会 子ども専門部会 検討結果

子ども専門部会の課題

- 貧困の連鎖を断つためにも「子どもの貧困」を解決する取組みが求められている
 - ・子どもの貧困を解決するためには、社会や区全体の底上げが必要。
 - ・子ども自身が気にしている「貧困」という言葉を、構想・計画で用いて良いかどうか。
 - ・ひとり親家庭や低所得の外国人家庭など、子どもを取り巻く様々な状況に応じた支援や、学校に来たくても来られない子どもの現状把握及び支援が必要。
- 若い世代が自立し、活躍できるように支えるための取組みが求められている
 - ・高校中退者やニート、フリーターが多い（※ニート、フリーターは区別すべき）。
 - ・子どもたちがやる気を持てるよう、進学以外の多様な進路を伝える職業教育が重要。
 - ・「職人のまち」など、高校中退者も活躍できる基盤づくりが必要。
- 多様化する保育ニーズに応えられるよう、保育の質や量の充実が求められている
 - ・今後、保育ニーズはさらに多様化することが予想され、ニーズや地域性に合った保育の提供が必要。
 - ・多様化に対応するためには、公立・民間保育園の役割分担や保育士の確保が必要。
- 学力の定着・向上のために、教育の質の向上や教育環境の充実が求められている
 - ・区内にある大学を活かした、学力の定着支援に向けた取組みが必要。
 - ・発達障がい者への支援や支援の担い手が不足している。
 - ・すべての子どもに対し、レベルに応じた学力アップ及び学力定着の機会を作ることが必要。
- 教師の過度な負担を減らし、子ども一人ひとりに向き合う時間を増やすことが求められている。
 - ・部活動指導や課外交流のボランティアと連携し、教員の過度な負担を減らす事が必要。
 - ・教師以外の学校スタッフを充実し、家庭・地域全体で学校を支えていくことが必要。
- 子どもが健やかに心豊かに育つための環境の充実が求められている
 - ・従来の体験学習だけでなく、大人と交流する機会の充実が必要。
 - ・子どもがものづくりを見て育つことや、身近な場所で緑や土に触れながら育つ環境などが重要。
 - ・既存の学校のみならず、フリースクールやチャレンジスクール、定時制高校等の多様な学び場を提供し、居場所をつくる必要がある。
 - ・中学教育の柱である部活動に、全ての子どもが取組めるような体制づくりが必要。
- 子どもに関わる様々な主体の連携が求められている
 - ・子どもはまちの宝であり、様々な人が子育てや教育に関わる必要がある。
 - ・学校の空き教室等を活用した交流など、地域に開かれた学校づくりが必要。
 - ・福祉分野と教育分野との連携など、庁内の横断的な連携体制の構築が必要。

▼くらし専門部会からの提案

- ・高校を中退した人に対するケアや支援が必要。
- ・高齢者と若い世代の関係づくり（交流や支えあい）が必要。
- ・道徳やマナーの向上が必要。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの課題

- 【子どもの教育】・学ぶことの楽しさを伝える必要がある。
 - ・特色ある学校づくりが必要。
 - ・小・中・高の連携が必要。
- 【健全に育つ環境】・中・高生が集まる場所・居場所が少ない。
 - ・子どもへの地域の目が届いていない。
- 【子育て支援】・子育て中の親同士の仲間づくりが必要。

将来像及び基本理念（案）

足立区の将来像（あるべき姿）

- 子どもの笑顔や夢を第一に考え、子どもにとっての最善を目指すまち
足立で生まれ育つ子どものために、親をはじめ地域・学校・行政が、常に最善を尽くし、柔軟に行動するまちを目指します。
- 多様性や可能性を大切に、一人ひとりの子どもが主体的に生きる力を育むまち
一人ひとりの子どもが持つ個性や可能性を適切に伸ばすため、子どもが育つ場の選択肢を増やし、多様な進路や夢・希望を実現できるまちを目指します。
- 親が安心・安定して子を育てられ、自らも育つことができるまち
子育てに地域をはじめとする多くの人に関わり、子や親とつながることで、親が安心・安定していきいきと子育てを楽しみ、自らも成長できるようなまちを目指します。
- 地域や様々な人が密接に結びつき、子どもたちを支え育むまち
親と親、子どもと年長者等、足立の子どもに関わる様々な主体が世代や所属に関わらず結びつき、子どもの成長に貢献できるまちを目指します。

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）

■多様性を尊重する

どのような環境に置かれた子どもでもチャレンジの機会があり、一人ひとりの可能性が認められ、自分らしく生きられることが重要です。そのためには、多様な子どものあり方や育ち方を尊重し、その個性を育む様々な支援や場づくりをしていくことが大切です。

■ネットワークを強化する

地域の様々な主体との重層的な関わりを強化することで、子どもの可能性を引き出すことや、保護者に必要な協力を届ける効果が期待できます。そのために、近隣住民や自治会、さらには足立区を越えた「地域」とも広がりをもって密接に結びつき、つながりを強化していくことが必要です。

■子どもの創造力や可能性を引き出す

子どもが夢や希望を抱き、その実現に向け主体的にいきいきと生きていけるよう、子どもの潜在的な創造力や可能性を引き出すことが大切です。そのため、親、地域住民、教育関係者、行政が助けあい、一体感を持ってサポートしていくことが必要です。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの「足立区の将来像」

- 一人ひとりの生き方を認めてもらい、実現できるまち
- 全世代が学び続け、知恵を共有しあえるまち
- 地域で安心して子育てできるまち
- 子どもにやさしいまち
- 子どもの声が聞こえるまち

足立区基本構想審議会 くらし専門部会 検討結果

くらし専門部会の課題

- 既存のコミュニティに加え、新たなコミュニティや絆づくりが求められている
 - ・下町情緒が残る地区や高層マンションなどコミュニティが生まれにくい地区がある。
 - ・ワークライフバランスなどにより、地域や人と関わる時間を生み出す。
 - ・同じ課題を共有でき、地域の中で解決したり、一人ひとりが主体的に参加できるような多様なコミュニティづくりが必要。
 - ・趣味や価値観を同じくする人が、世代を超えて気軽に集まれる場や機会が必要。
- 一人ひとりが担い手となり、互いに支えあえる関係づくりが求められている
 - ・親元にいる若者が増えているが、今後は介護の担い手として期待できる。
 - ・元気な高齢者が増えていくことが予想され、活躍できる場が必要。
 - ・財源が限られており、ボランティアや施設（行政）に頼らない子育てや介護が必要。
- 一人ひとりが意識しながら、健康づくりに取り組むことが求められている
 - ・健康寿命を伸ばすためには、個人の健康管理意識の向上と継続的な取り組みが必要。
 - ・健康寿命が延伸すると、扶助費の削減につながる。
- 必要な支援を受けながら、地域で安心して暮らせることが求められている
 - ・高齢化の進展により「老老介護」の増加が予想される。
 - ・足立区版地域包括ケアシステムの構築や働きながら介護ができる環境づくりにより、住み慣れた自宅で生活し続けたいという願いをかなえられるようにする。
 - ・高齢や介護のために働きたくても働けない人への支援が必要（生活保護）。
 - ・障がい者の方に目を向けた施策展開が必要。
- 足立産のものを足立で消費できる仕組みや足立で就労できる場が求められている
 - ・23区でも有数の農業区であることを活かして地産地消を進める。
 - ・農業だけでなく、優れた職人技の作品により地域経済を活性化させることが必要。
 - ・地元での雇用を生み出す既存の中小企業を、みんなで磨いて育てることが必要。
- 新たな足立のイメージを発信していくことが求められている
 - ・区民による評価はあがってきているが、区外からの良くないイメージが抜けない。
 - ・区を挙げて応援するスポーツや文化、生涯学習などにより、新たなイメージをつくる。
 - ・大学があることを活かし、産官学連携による新たな足立発のものをつくる。
 - ・若者向けの情報発信媒体の活用など、ターゲットに対して効果的な情報発信をしていくことが必要。
 - ・住んでみると「意外と良い」ことを実感する人が多い。この意外性を積極的に発信していくことが必要。

▼まちづくり専門部会からの提案

- ・マンションの開発段階から町会・自治会加入のルールづくりが必要である。

▼子ども専門部会からの提案

- ・子どもの貧困の問題を解決するため、ひとり親家庭への対応や、職業訓練や福祉のあり方を検討してほしい。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの課題

- 【コミュニティ】・地域の集まりなどに入りにくい雰囲気がある。
 - ・若い世代の地域の行事への参加が少ない。
 - ・子どもから高齢者、単身者や子育て世代まで参加できる場や機会が必要。
- 【支えあい】・ひとり暮らし高齢者がつながる仕組みが必要。
- 【産業・経済】・小さな商店街が無くなりつつある。
- 【治安・マナー・モラル】・マナーを守り、犯罪が少なく住みやすいまちづくりが必要。

将来像及び基本理念（案）

足立区の将来像（あるべき姿）

- **あまりお金をかけずに、まちも心も豊かに成長するまち**
足立区がこれまで歩み、培ってきたまちの豊かさに加え、互いに認めあい、支えあいながら、誰もが心の豊かさを得ることができ、楽しく暮らせるまちを目指します。
- **足立らしい多様なコミュニティと連帯感が生まれるまち**
足立区特有の下町コミュニティや昔から続くお祭りなどを大切にしながら、新たな人を受け入れ、多様な世代が交流できる、ゆるやかにつながるコミュニティづくりを進めます。
- **生涯にわたって健康でいきいきと活躍できるまち**
足立区で暮らす中で心と体の健康が保たれ、生涯にわたって一人ひとりが力を発揮することにより、足立区のさらなる発展を目指します。
- **足立区の魅力をともに育み、積極的に発信していくまち**
ネガティブなイメージを払拭するために、誰もが共感できるシンボルを掲げるとともに、足立区に関わる全ての主体が足立区の魅力や資源を磨き、育み、積極的にアピールできるまちを目指します。

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）

■心の豊かさ

これからの時代は、一人ひとりの価値観が尊重され、長い人生を豊かに歩めることが求められています。そのためには、人や地域の温もりに包まれながら、互いに認めあい、夢や希望の実現に向かって自分らしく生きられることが重要です。

■一体感

区民、行政、企業、大学など、足立区に関わる様々な主体が新たな交流や出会いを通して、足立区の未来に向けて連携・協力しながら取り組む。そのような一体感や連帯感を醸成しながら、一人ひとりが力を発揮し、活気と魅力あふれる足立をともにつくることが重要です。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの「足立区の将来像」

- 隣近所で声をかけあい、地域の絆が深まるまち
- 団結感があるまち
- 地域のみんなで見守っていけるまち
- あいさつが飛び交うまち
- 活気にあふれた熱いまち
- 高齢者が活躍できるまち
- あらゆる世代が元気で暮らしやすいまち
- それぞれの年代にあった居場所があり、安心・安全・信頼できるまち

足立区基本構想審議会 まちづくり専門部会 検討結果

まちづくり専門部会の課題

- 少子高齢化への備えが求められている
 - ・ 担税力のある若者世代の転入を促進するため、魅力あるまちづくりが必要。
 - ・ 今後、さらに増える高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりが必要。
- 限られた財政状況の中で、将来を見据えたメリハリのある計画が求められている
 - ・ 今後、インパクトがある事業（鉄道立体化、地下鉄8号線等）が予定されている。
 - ・ インフラ整備による将来的な問題を予測し、都市基盤の維持・保守の負担も考慮した計画や既存の計画の見直しが必要。
 - ・ 不要な歳出を見直すとともに、歳入につながる計画的なまちづくりが必要。
- 自然資源や環境対策などの強みを活かしたまちづくりが求められている
 - ・ 恵まれた川と緑を活かしたまちづくり。
 - ・ 川を活用した、リバーステーション（川の駅）や物資輸送機能の強化。
 - ・ 先駆的な環境対策（ごみ資源化）などの取組みをアピールすべき。
- コミュニティがあり、安心して住み続けられるまちづくりが求められている
 - ・ 集合住宅（ワンルーム）が増え、特に賃貸は自治会加入率が低い。
 - ・ 老朽家屋や無接道家屋への対策や密集地域の解消が必要。
 - ・ 障がい者などの災害弱者が逃げなくても良いよう、不燃化・耐震化が必要。
 - ・ 治安向上に向けた取組みの成果が出ているが、今後も引き続き取組みが必要。
- さまざまな課題に柔軟に対応できるルールや仕組みづくりが求められている
 - ・ 集合住宅の将来的なスラム化や、ワンルームマンションによる弊害などを防ぐための一定の規制が必要。
 - ・ まちづくりに対応できる柔軟なルールや仕組みが必要。
- 民間活力の導入などによる、潜在的なポテンシャルを活かすまちづくりが求められている
 - ・ 今後、都営住宅建替えによる余剰地や学校跡地の活用が予想される。
 - ・ エリアデザインなど、民間資本を活用し、優先順位や効率性を考えた開発が必要。
 - ・ 今後のまちづくりにおいては、地元への還元という視点が不可欠。
- 地域特性を活かした、人や企業を呼び込める魅力のあるまちづくりが求められている
 - ・ 地域ごとの特性を活かした、住む場所の選択肢があるまちづくり。
 - ・ 東西方向が弱い公共交通網の充実または補完が必要。
 - ・ 集客機能の強化、文化の充実、医療施設・企業誘致などの目的をもったまちづくりが必要。
- ハード・ソフトの両面からつくりあげた魅力や強みのPRが求められている
 - ・ 魅力あるまちづくりのためには、まずは安全・安心、子どもの教育環境が必要。
 - ・ 人や企業を呼び込むためには、魅力や強みを内外に発信することが必要。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの課題

- 【道路・交通】・ 区の中心部に公共交通のターミナル拠点が必要。
 - ・ 自転車で移動しやすいまちづくりが必要。
- 【災害対策】・ 災害対策の充実が必要。
- 【魅力づくり】・ おしゃれなマンションや住宅街など、若い世代に魅力あるまちづくり。
 - ・ 昔ながらの商店街や景観が保たれている。

将来像及び基本理念（案）

足立区の将来像（あるべき姿）

- **誰もが安心して安全に住み続けられるまち**
防災・防犯の両面で安全なまちづくりが進められてこそ、安心感が得られます。年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが安心して住み続けられるまちを目指します。
- **足立区の強みや特性を活かした魅力があるまち**
足立区の特徴である豊かな水と緑に加え、歴史や文化、農業等の伝統、各地域が持つ様々な機能や雰囲気について区民が理解し、それらを活かすことによって、住みたいと思える場所が見つかり、人が集まるまちを目指します。
- **将来を見据えた進化し続けるまち**
将来的な負担まで考慮し、住む人や地域への貢献や還元に重点をおいた、若者が定着し、次世代に残していけるまちを目指します。
そのため、今ある地域資源やインフラ事業などを再評価するとともに、今後もさらに発展する可能性を活かし、区民や事業者、教育機関や行政などが連携・協働し、良い点を伸ばし悪い点を改善していきます。

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）

■地域力

- ・事業者、行政、地域が持っている資源、あるいは歴史・伝統といった蓄積を基に、絆、住民同士のつながりの中にあるポテンシャルが活かされ、足立区に関わるあらゆる人の力によって、より「愛される」足立区にしていくようなまちづくりが重要です。
- ・若者世代に選ばれる足立区に向けて、若者世代が主体的に関わっていけるような仕組みをつくり、住みよいまちを模索し、挑戦し続けることが必要です。

■やさしいまちづくり

誰にとっても魅力的で住みやすいまちづくりを進めていくためには、年齢・障がいの有無、国籍に関わらず、あらゆる人が普遍的に享受できる環境を整えていくことが重要です。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの「足立区の将来像」

- 活気にあふれ、昔ながらの風景があるまち
- 緑が豊かでのんびりした安全なまち
- 都市と緑の調和のとれた住みよいまち
- 若い人が移り住んでくるまち
- オシャレなまち
- 安全で住みやすいまち
- みんなが安心して居心地よく住めるまち

足立区基本構想審議会 経営改革専門部会 検討結果

経営改革専門部会の課題

- 強みを伸ばし、足立区らしさを打ち出すための戦略的な施策展開が求められている
 - ・エリアデザイン、大学誘致などは区の強みである。
 - ・強みを伸ばすブランディング戦略が必要。
 - ・コストはかけないが、内外から一目置かれるような施策展開が必要。
- 区民ニーズに応えるために必要な行政機能の維持が求められている
 - ・コンパクトな区政運営は良いが、必要などころには必要な職員数を配置すべき。
 - ・学校統廃合と開発による人口増のミスマッチへの対応など、柔軟性を持った計画の見直しが必要。
- 限られた財源の中で、計画的でメリハリのある財政運営が求められている
 - ・財政状況を踏まえたリアリティのある区づくりが必要。
 - ・最少経費で最大の効果が得られるよう、行政がやるべき分野に資源を投入する。
 - ・支出を抑制するとともに、収納率の向上や担税力のある若者の転入促進などによる歳入増に向けた取組みや負担の公平化などが必要。
 - ・扶助費の抑制は必要だが、様々な困難を抱える区民に対する経済的支援も必要。
- 多様な主体と連携した、新たな協働のあり方が求められている
 - ・区内に大学があることはメリットであり、区の課題解決に向けて協働していくべき。
 - ・大学の研究内容や人材（学生）を活用すべき。
 - ・自助、共助、公助のバランスを踏まえた、区民と行政の役割分担が必要。
 - ・地域や住民からの提案型の協働の仕組みづくりが必要。
- 区のイメージアップと、区内外への発信力の向上が求められている
 - ・シティプロモーションは区の強みである。
 - ・区の広報紙はインパクトがあり、区民にアピールできている。
 - ・若い世代の転入を促進するためにも、発信媒体の工夫や区外への発信力向上が必要。

▼くらし専門部会への提案

- ・支出を抑制するためには、健康寿命の延伸やジェネリックの推進（医療従事者と患者の相互の意識改革）などによる、扶助費の抑制が必要。
- ・扶助費の抑制は必要だが、様々な困難を抱える区民に対する経済的支援も必要。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの課題

- 【協働のあり方】・若い世代がリーダーシップをとるべき。
- 【情報共有】・地域に身近な情報を、広報紙などを活用して効果的に発信することが必要。
- 【魅力・ブランド力】・「足立区といえば〇〇」、というものをつくり出すことが必要。
 - ・長期を見据えたブランド力の形成。
- 【行財政運営】・平等な行政サービスを提供することが必要。

将来像及び基本理念（案）

足立区の将来像（あるべき姿）

- 「住民力」が活きる、区民が誇りを持ち、幸せを感じられるまち
足立らしい魅力と人情味があふれるまちの中で、一人ひとりが力を発揮し、誇りを持って足立区に住み続けることができるまちを目指します。
- 新たな視点や発想を持ち、足立区独自の魅力をつくり、発信していくまち
足立区を支える中小企業や新たな活力を生み出す大学など、多様な主体と協働・連携し、次世代を担う若者世代が定住したくなるような魅力あるまちを目指します。また、他区にはない足立区の魅力をアピールし、国内外から観光客が訪れ、足立ファンが増えるまちを目指します。
- 健全財政のもと、一人ひとりが自立し連帯しているまち
少子高齢化や厳しい財政を乗り越えるため、財源を確保し、一人ひとりが区政を応援することで、ともに未来を築くまちを目指します。

将来像を設定した根本となる考え方（基本理念）

■よりよい明日を目指す わがまち足立

- ・区政も区民も「足立区をよくしたい」という思いは同じです。生まれ育った足立に愛着を持ち、新たに転入してくる人が居場所を見つけ、区内の中小企業や大学をみんなで育てていく。そして、足立区をふるさとと感じられる人を増やすまちづくりが重要です。
- ・行政、区民、事業者など、足立区に関わるすべての人が「地域に貢献する」という基準を持って行動する。また、誰もが自分のためだけでなく、誰かのために活動できる。そういう意識を地域で育てていくことが重要です。

区民あだちサロン及び中・高生ワークショップの「足立区の将来像」

- 一人ひとりが足立区に誇りを持てるまち
- 足立区に住んでいて「いいね！」と言われるようなまち
- みんなが笑顔で人の輪ができるまち
- 若い世代が自ら行動し、足立区を引っばっていく活気あふれるまち
- 自立心があり、自主性のあるまち ●挑戦し続けるまち
- 自分だけではなく、皆のために動ける人が増えるまち

区民あだちサロン 及び 中学生・高校生ワークショップ 「私たちの考える足立区の将来像」

1 実施概要

(1) 対象者について

■区民あだちサロンの抽出方法

下記(2)の表における5つの世代について、各300名(単身者は1,200名)、延べ2,400名を無作為抽出した。

■中学生・高校生ワークショップの選出方法

- ・区立中学校37校から中学2年生を1名ずつ推薦依頼
- ・区内高等学校11校から高校2年生を1名ずつ推薦依頼

(2) 実施日と参加状況

■区民あだちサロン

区分	実施日	参加者数	申込者数	抽出者数
20歳	7月11日 午前9時～正午	19名	20名	300名
単身者 (20～39歳)	7月11日 午後2時～5時	23名	32名	1,200名
40歳	7月4日 午前9時～正午	14名	16名	300名
子育て世帯 (0歳～ 小学生の親)	7月4日 午後2時～5時	29名	33名	300名
シニア世代 (60～80歳)	7月9日 午前9時～正午	26名	30名	300名

■中学生・高校生ワークショップ

実施日	参加者数	申込者数
平成27年7月30日 午前9時15分～正午	中36人・ 高11人	中37人・ 高11人

(3) グループワークの概要

■区民あだちサロン

ワーク①：「足立区の“宝物”と“宿題”」の検討

ワーク②：「30年後の将来像」の検討

ワーク③：“宿題”に対し「課題の解決方法」の検討

■中学生・高校生ワークショップ

ステップ1「自分の夢について」

ワーク①：「将来（10年後）の夢のイメージ」の共有

ワーク②：現在の足立区の良いところ、足りないところの検討

ステップ2「夢をかなえるために～必要な人材や力～」

ワーク③：ステップ1に対し将来（10年後）に必要な人材像や力の検討

ステップ3「あるべきまち（足立区）の将来像」

ワーク④：「どのようなまちであるべきか」の検討

2 区民あだちサロン及び中・高生ワークショップ 「私たちの考える足立区の将来像」 要約

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20~39 歳)	子育て世帯 (0 歳~小学生の親)
足立区の “宝物” (良いところ)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 土手でランニングができる、おしゃべりができる <input checked="" type="checkbox"/> 通勤・通学に便利 <input checked="" type="checkbox"/> 終電が遅い <input checked="" type="checkbox"/> 帰省しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 千代田線、日暮里・舎人ライナーなどが通っている <input checked="" type="checkbox"/> 北千住のアクセスがよい <input checked="" type="checkbox"/> 昔ながらの商店街・景観が保たれている <input checked="" type="checkbox"/> 区民事務所が利用しやすい <input checked="" type="checkbox"/> 広報が分かりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ギャラクシティなど子どもと遊べる場所がある <input checked="" type="checkbox"/> 地形が平らであり、坂がない
足立区の “宿題” (足りないところ)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 子どもへの目が届いていない <input checked="" type="checkbox"/> 土地が狭い、小さい家がたくさんある <input checked="" type="checkbox"/> 駅にバスターミナルのない場所がある <input checked="" type="checkbox"/> バスが来るまで時間がかかる <input checked="" type="checkbox"/> 外部からのイメージが悪い <input checked="" type="checkbox"/> 不審者が多い <input checked="" type="checkbox"/> 交番にお巡りさんがいないことが多い <input checked="" type="checkbox"/> 土地の開発について区民に情報がまわっていない 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 病院が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 高齢化への対応ができていない <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーが混む <input checked="" type="checkbox"/> 少子化・高齢化が進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 外国人に対する案内が不十分 <input checked="" type="checkbox"/> ブランド力が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 待機児童の地域バランスがよくない <input checked="" type="checkbox"/> 保育料が高い <input checked="" type="checkbox"/> 保育園や学童保育が不十分である <input checked="" type="checkbox"/> いじめがある <input checked="" type="checkbox"/> 公園や河原などでのポイ捨てや飲酒 <input checked="" type="checkbox"/> これといった特徴が思い浮かばない
将来像に向けて取り組むべきこと／10年後に求められている人材像・力(中・高生ワークショップのみ)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 駅やバスのターミナル拠点をつくる★ <input checked="" type="checkbox"/> テーマパークや映画館、ショッピングモールの設置 <input checked="" type="checkbox"/> おしゃれなマンションや住宅街をつくる <input checked="" type="checkbox"/> バス停などで待ち時間に見られる情報発信や、求めている情報だけが入手できるツイッターなどの配信★ 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 子どもから大人、転入者、単身者や子育て中の人まで参加でき、楽しめるイベント★ <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者にとって住みやすいインフラ整備 <input checked="" type="checkbox"/> 健康増進 <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーに女性専用車両を設ける <input checked="" type="checkbox"/> 長期を見据えたブランド力の形成★ 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 農をきっかけにした子どもと高齢者の交流の促進★ <input checked="" type="checkbox"/> 子育てサロンを通じたママ友づくり <input checked="" type="checkbox"/> バリアフリーに取り組んでいく <input checked="" type="checkbox"/> 保育園や幼稚園等の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 区内で学力を競う選手権の実施★ <input checked="" type="checkbox"/> パンチのある商業施設★ <input checked="" type="checkbox"/> 「足立区といえば〇〇」、というものをつくり出していく
30年後の将来像／10年後の将来像(中・高生ワークショップのみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま足立区に住みたいと言えるまち ・人と人とのふれあい、コミュニケーションを大切にするまち ・どの世代も支えあって安心して住み続けられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・活気にあふれ、昔ながらの風景があるまち ・一人ひとりの生き方を認めてもらい、実現できるまち ・高齢者が活躍できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で安心して子育てできるまち ・子どもと高齢者が交流し元気になれるまち ・あらゆる世代が元気で暮らしやすいまち

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

★：シール投票で票数の多かったもの（※ただし中・高生ワークショップではシール投票実施無し）

子：子ども 子：くらし 子：まちづくり 子：経営改革

40 歳	シニア世代 (60~80 歳)	中学生・高校生	共通する項目
<p>子 学校が少人数制クラスである</p> <p>子 住宅地は静か</p> <p>子 公園にごみが無くなりきれい</p> <p>子 ごみの回収が充実している</p> <p>子 頻繁にパトロールを行っている</p>	<p>子 高齢者が元気</p> <p>子 住区センターが多い</p> <p>子 農地を含む緑がある</p> <p>子 住環境がよい</p> <p>子 干住界隈の旧街道や遺跡などが残っている</p> <p>子 治安が良くなってきている</p>	<p>子 大学が充実している</p> <p>子 学校以外に勉強できる場がある</p> <p>子 サッカー用のグラウンドがある</p> <p>子 落ち着いた街並みが多い</p> <p>子 年齢問わず参加できる祭りなどがある</p>	<p>子 日本一おいしい給食</p> <p>子 教育の取組みに熱心である</p> <p>子 図書館などが多い</p> <p>子 緑や公園が多い</p> <p>子 足立区の花火大会</p> <p>子 家賃が安い、物価が安い（中・高生除く）</p> <p>子 下町の雰囲気があり、近所づきあいがある</p>
<p>子 学校に関する情報が少ない</p> <p>子 小・中・高の連携がよくない</p> <p>子 コミュニティバス同士の接続が悪い</p> <p>子 通学路などで道が狭いところがある</p> <p>子 歩道が狭い</p> <p>子 地域の集まりなどに入りにくい雰囲気がある</p> <p>子 遊びに行くときは区外に行ってしまう</p> <p>子 広報紙に地域に身近な情報が少ない</p>	<p>子 団地においてひとり暮らしが増えている</p> <p>子 小さな商店街が無くなってきた</p> <p>子 災害の心配がある</p> <p>子 親が子どもの指導をする場面が少なくなっている</p>	<p>子 中・高生が集まる場所・居場所が少ない</p> <p>子 勉強できる場所が少ない</p> <p>子 学力に対する意識が低い人が多い</p> <p>子 区内に希望する学部がない</p> <p>子 開発が進むことで自然が少なくなっている</p> <p>子 街灯が少ないため、夜が暗い</p> <p>子 若い人の行事への参加人数が少ない</p> <p>子 夜中に公園で若者がたむろする</p> <p>子 アピールが足りない</p>	<p>子 学力が低い</p> <p>子 区内の横のアクセスが不便（中・高生除く）</p> <p>子 ごみのポイ捨てや自転車等のマナーが悪い</p> <p>子 犯罪が多い</p>
<p>子 施設の有効活用を行い、高齢者と子どもがふれあえるようにする★</p> <p>子 高齢者が地域にかかわる制度づくり★</p> <p>子 高齢者の働く場所の確保やボランティアの機会の提供</p> <p>子 学校のウリをつくる★</p>	<p>子 町会の充実★</p> <p>子 ひとり暮らしの高齢者がつながる仕組みづくり</p> <p>子 高齢者のパワー活用（シニアの観光ガイド、ピンピンコロリ運動）★</p> <p>子 ひとり暮らしの高齢者の現状把握★</p> <p>子 農地などを活用し学校教育に自然学習を取り込む★</p> <p>子 災害対策を充実していく</p>	<p>子 みんなを引っばるリーダー</p> <p>子 自分のことだけでなく、周りを思いやる</p> <p>子 行事や活動に参加する、行事をつくる</p> <p>子 スポーツを盛り上げる</p> <p>子 学ぶことの楽しさを伝える</p> <p>子 犯罪を減らすためにメディアで発信する</p> <p>子 マナーの見本になる</p>	<p>子 多世代で交流</p> <p>子 自転車道などの道路整備（中・高生除く）</p> <p>子 企業誘致、商業施設の誘致・維持支援</p>
<p>・地域のみんで見守っていただけるまち</p> <p>・若い人が移り住んでくるまち</p> <p>・四世代がイキイキ暮らせるまち</p>	<p>・いろいろな人と交流し気にかけるまち</p> <p>・全世代が学び続け、知恵を共有しあえるまち</p> <p>・子どもの声が聞こえて老後が安心できるまち</p>	<p>・緑が豊かでのんびりした安全なまち</p> <p>・地域交流が深く、助けあい、コミュニケーションが多い区</p> <p>・若い人が引っばっていく活気あふれるまち</p> <p>・それぞれの年代にあった居場所ができ、安心・安全・信頼できるまち</p>	<p>・交流</p> <p>・安心</p> <p>・誇れる</p>

3 区民あだちサロン及び中・高生ワークショップ 「私たちの考える足立区の将来像」(詳細)

■足立区の“宝物”、“宿題”

(1) “宝物”(良いところ)

グループ テーマ	20歳	単身者(20~39歳)	子育て世帯 (0歳~小学生の親)
子ども・子育て ・学力	<input checked="" type="checkbox"/> 給食がおいしい <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが元気で、人口が多い <input checked="" type="checkbox"/> 医療費が中学生まで無料	<input checked="" type="checkbox"/> 日本一おいしい給食 <input checked="" type="checkbox"/> 大学が多い	<input checked="" type="checkbox"/> 学校給食がおいしい <input checked="" type="checkbox"/> ギャラクシティなど子どもと遊べる場所がある <input checked="" type="checkbox"/> 学校教育に熱心 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが多い
健康・高齢者			
生涯学習・文化 ・スポーツ	<input checked="" type="checkbox"/> 中央図書館が広く使いやすい	<input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習が充実している	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館などが多い
公園・みどり ・住環境	<input checked="" type="checkbox"/> 公園やみどりがある <input checked="" type="checkbox"/> 住宅街が静かである <input checked="" type="checkbox"/> 土手でランニングができる、おしゃべりができる	<input checked="" type="checkbox"/> 土手や自然公園が整備されている <input checked="" type="checkbox"/> 公園や川などの自然が多い	<input checked="" type="checkbox"/> 地形が平らであり、坂がない <input checked="" type="checkbox"/> 集まることのできる公園がある <input checked="" type="checkbox"/> 自然が多い
交通・道路	<input checked="" type="checkbox"/> 通勤・通学に便利 <input checked="" type="checkbox"/> 終電が遅い <input checked="" type="checkbox"/> 帰省しやすい	<input checked="" type="checkbox"/> 交通の便がよい <input checked="" type="checkbox"/> 千代田線が通っている <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーの駅からのバスが便利 <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーの開通 <input checked="" type="checkbox"/> 北千住のアクセスがよい	<input checked="" type="checkbox"/> 区外へのアクセスが便利 <input checked="" type="checkbox"/> 都心に近い
活力	<input checked="" type="checkbox"/> 花火大会がある、足立フェスタがある <input checked="" type="checkbox"/> 人口が増えている	<input checked="" type="checkbox"/> 花火をはじめ、イベントが多い	<input checked="" type="checkbox"/> 足立区の花火大会 <input checked="" type="checkbox"/> ディープな居酒屋がある
安い・手頃	<input checked="" type="checkbox"/> 家賃が安い、物価が安い	<input checked="" type="checkbox"/> 家賃が安い、物価が安い	<input checked="" type="checkbox"/> 物価が安い

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

☑ : 子ども ☑ : 暮らし ☑ : まちづくり 経 : 経営改革

40 歳	シニア世代 (60～80 歳)	中学生・高校生
<input checked="" type="checkbox"/> 給食がおいしい <input checked="" type="checkbox"/> 子ども医療費が無料 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校が多い <input checked="" type="checkbox"/> 少人数制クラスである	<input checked="" type="checkbox"/> 子育てしやすい <input checked="" type="checkbox"/> 日本一おいしい給食	<input checked="" type="checkbox"/> 学校給食がおいしい <input checked="" type="checkbox"/> 教育の取組みに熱心である <input checked="" type="checkbox"/> ☑ 大学が充実している <input checked="" type="checkbox"/> 学校以外に勉強できる場がある <input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対する施設が充実している <input checked="" type="checkbox"/> 地域で子育てをすることができる
	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が元気	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉施設が多い <input checked="" type="checkbox"/> 病院が充実している
<input checked="" type="checkbox"/> 図書館が多い <input checked="" type="checkbox"/> 体育館やプールがある	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館などの施設が充実している <input checked="" type="checkbox"/> 住区センターが多い	<input checked="" type="checkbox"/> 充実した公共施設がある <input checked="" type="checkbox"/> 図書館が充実している <input checked="" type="checkbox"/> ☑ 図書館が充実している <input checked="" type="checkbox"/> ☑ サッカー用のグラウンドがある
<input checked="" type="checkbox"/> 静かである <input checked="" type="checkbox"/> 公園、自然が多い <input checked="" type="checkbox"/> 河川が多い <input checked="" type="checkbox"/> 公園にごみが無くなりきれい <input checked="" type="checkbox"/> ごみの回収が充実している	<input checked="" type="checkbox"/> 公園が多い <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然環境 <input checked="" type="checkbox"/> 農地を含む緑がある <input checked="" type="checkbox"/> 住環境がよい	<input checked="" type="checkbox"/> 緑や公園が多い <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着いた街並みが多い
<input checked="" type="checkbox"/> 北の方の道路が広い <input checked="" type="checkbox"/> 都心へのアクセスがよい	<input checked="" type="checkbox"/> 交通の便がだいぶよくなった	<input checked="" type="checkbox"/> 移動が便利である <input checked="" type="checkbox"/> 交通が整備されている
<input checked="" type="checkbox"/> 商店街での買い物が便利 <input checked="" type="checkbox"/> 大型のショッピングセンターや映画館ができた	<input checked="" type="checkbox"/> 花火大会など、催し物が多い <input checked="" type="checkbox"/> 各商店街ががんばっている <input checked="" type="checkbox"/> ☑ 最近、学生が多い	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢問わず参加できる祭りなどがある
<input checked="" type="checkbox"/> 物価が安い	<input checked="" type="checkbox"/> ☑ 物価や家賃が安い	

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20~39 歳)	子育て世帯 (0 歳~小学生の親)
コミュニティ ・下町情緒	<input checked="" type="checkbox"/> 人とのつながりがある <input checked="" type="checkbox"/> 下町の商店街があるためか、優しい人が多い	<input checked="" type="checkbox"/> 下町の雰囲気があって親しみやすい <input checked="" type="checkbox"/> 近所とのつながりがある <input checked="" type="checkbox"/> 「ありがとう」という言葉をよく聞く <input checked="" type="checkbox"/> 昔ながらの商店街・景観が保たれている	<input checked="" type="checkbox"/> 人があたたかい、やさしい <input checked="" type="checkbox"/> 町会など、コミュニティがしっかりしている
治安・マナー ・モラル		<input checked="" type="checkbox"/> 犯罪件数を減らす取組みがされている	
呼び込む魅力			
行財政運営		<input checked="" type="checkbox"/> 区民事務所が利用しやすい <input checked="" type="checkbox"/> 広報が分かりやすい	

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

40 歳	シニア世代 (60～80 歳)	中学生・高校生
<input checked="" type="checkbox"/> 下町文化が根付いている <input checked="" type="checkbox"/> 近所づきあいがある <input checked="" type="checkbox"/> 商店街がある	<input checked="" type="checkbox"/> 人情、近所づきあいがある <input checked="" type="checkbox"/> 人のつながりがしっかりしている <input checked="" type="checkbox"/> 下町情緒がある <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアがよい <input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちとの交流ができる <input checked="" type="checkbox"/> 千住界隈の旧街道や遺跡などが残っている	<input checked="" type="checkbox"/> 下町の雰囲気がある <input checked="" type="checkbox"/> 癒しの施設として銭湯に力を入れている <input checked="" type="checkbox"/> 人との交流がある <input checked="" type="checkbox"/> 素直な人が多く、「人」がよい <input checked="" type="checkbox"/> 人の助けあいがある <input checked="" type="checkbox"/> 協力して楽しむ関係がある <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアを積極的に募集し、そこに参加している人がいる
<input checked="" type="checkbox"/> 以前よりもイメージがよくなった <input checked="" type="checkbox"/> 頻繁にパトロールを行っている	<input checked="" type="checkbox"/> 千住地域は治安が良くなってきている	<input checked="" type="checkbox"/> 交通の安全やマナーが向上している <input checked="" type="checkbox"/> 犯罪件数が減って安心してまちを歩けるようになった
<input checked="" type="checkbox"/> 足立区出身の芸能人が多い		<input checked="" type="checkbox"/> 地元の名産がある
<input checked="" type="checkbox"/> 職員が親切になった		

(2) “宿題” (足りないところ)

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20～39 歳)	子育て世帯 (0 歳～小学生の親)
子ども ・子育て ・学力	<input checked="" type="checkbox"/> 学力が低い、中卒が多い <input checked="" type="checkbox"/> 足立区独自の手当が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 待機児童が多い、幼稚園や保育所の数が足りていない <input checked="" type="checkbox"/> 子どもへの目が届いていない	<input checked="" type="checkbox"/> 教育レベルが低い <input checked="" type="checkbox"/> 待機児童が多いが保育施設が少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 待機児童の地域バランスがよくない <input checked="" type="checkbox"/> 学力が低い <input checked="" type="checkbox"/> もう少し経済的支援が欲しい <input checked="" type="checkbox"/> 保育料が高い <input checked="" type="checkbox"/> 公立の幼稚園が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 保育園や学童保育が不十分である <input checked="" type="checkbox"/> 学力が低い <input checked="" type="checkbox"/> いじめがある
健康・高齢者		<input checked="" type="checkbox"/> 病院が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 高齢化への対応ができていない	<input checked="" type="checkbox"/> 団地では孤立しているお年寄りが多い
生涯学習 ・文化 ・スポーツ			
公園 ・みどり ・住環境	<input checked="" type="checkbox"/> 土地が狭い、小さい家がたくさんある <input checked="" type="checkbox"/> ごみ屋敷のイメージがある	<input checked="" type="checkbox"/> 公園の周辺で整備されていないところがある	
交通・道路	<input checked="" type="checkbox"/> 駅にバスターミナルのない場所がある <input checked="" type="checkbox"/> 私鉄の本数が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーなど混雑しすぎている <input checked="" type="checkbox"/> 五反野駅のバス路線が無くなった <input checked="" type="checkbox"/> バスが来るまで時間がかかる <input checked="" type="checkbox"/> 東西の移動は不便 <input checked="" type="checkbox"/> 道路が狭い	<input checked="" type="checkbox"/> 街灯が少ないため夜は怖い <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーの混み具合がすごい <input checked="" type="checkbox"/> 駐輪場や道路の整備が足りていない	<input checked="" type="checkbox"/> 区内でのバスの移動が不便 <input checked="" type="checkbox"/> 駅から遠い地域がある <input checked="" type="checkbox"/> バスの便が悪いところがある

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

: 子ども : 暮らし : まちづくり : 経営改革

40 歳	シニア世代 (60~80 歳)	中学生・高校生
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 学校に関する情報が少ない <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 教育にかかる経費が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 小・中・高の連携がよくない	<input checked="" type="checkbox"/> 高校中退等の問題	<input checked="" type="checkbox"/> 中・高生が集まる場所・居場所が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 学力が低い <input checked="" type="checkbox"/> 学力に対する意識が低い人が多い <input checked="" type="checkbox"/> いじめがある <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 区内に希望する学部がない
	<input checked="" type="checkbox"/> 少子高齢化で団地においてひとり暮らしが増えている <input checked="" type="checkbox"/> 年金では生活ができない	
		<input checked="" type="checkbox"/> 施設の分布に偏りがある <input checked="" type="checkbox"/> 施設の使い勝手がよくない <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 西側には本屋が少ない <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> バasketボールができる場所が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 自主学習の場がない
	<input checked="" type="checkbox"/> 川の水質が悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 開発が進むことで自然が少なくなっている
<input checked="" type="checkbox"/> 区内の「横のアクセス」が不便、区役所に行くにも不便 <input checked="" type="checkbox"/> バスが遅れることもある <input checked="" type="checkbox"/> 北千住付近の道路が狭い <input checked="" type="checkbox"/> 移動に不便な地域がある <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティバス同士の接続が悪い <input checked="" type="checkbox"/> 通学路などで道が狭いところがある <input checked="" type="checkbox"/> 歩道が狭い	<input checked="" type="checkbox"/> 東西のアクセスがよくない <input checked="" type="checkbox"/> 駅から少し離れると駐輪場が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 大踏切に踏切番がない <input checked="" type="checkbox"/> 信号は歩行者優先にしてほしい	<input checked="" type="checkbox"/> 交通の便や安全性がよくない <input checked="" type="checkbox"/> 街灯が少ないため、夜が暗い

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20~39 歳)	子育て世帯 (0 歳~小学生の親)
活力		<input checked="" type="checkbox"/> 千住以外の地域で商店街が減った <input checked="" type="checkbox"/> 銀行が少ない <input checked="" type="checkbox"/> 少子化・高齢化が進んでいる	
コミュニティ ・人情		<input checked="" type="checkbox"/> 地域のつながりがなくなっている	
防災		<input checked="" type="checkbox"/> 防災の面で充実していない	
治安 ・マナー ・モラル	<input checked="" type="checkbox"/> 路上駐車がある <input checked="" type="checkbox"/> 外部からのイメージが悪い <input checked="" type="checkbox"/> 治安が悪い <input checked="" type="checkbox"/> 自転車の盗難が多い <input checked="" type="checkbox"/> 不審者が多い <input checked="" type="checkbox"/> 交番にお巡りさんがいないことが多い	<input checked="" type="checkbox"/> 曇り気が悪い、ガラが悪い <input checked="" type="checkbox"/> マナーが悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 治安が悪いイメージがある <input checked="" type="checkbox"/> 犯罪の問題がある <input checked="" type="checkbox"/> 自転車のマナーが悪い <input checked="" type="checkbox"/> モラルが低い <input checked="" type="checkbox"/> 小さな公園には風間から酒を飲んでいるおじさんがいる <input checked="" type="checkbox"/> 公園に吸い殻が落ちている <input checked="" type="checkbox"/> 河原にごみが落ちている
貧困	<input checked="" type="checkbox"/> 給食費の未納が多い		
呼び込む魅力		<input checked="" type="checkbox"/> 外国人に対する案内が不十分 <input checked="" type="checkbox"/> 土地が有効に使われていない <input checked="" type="checkbox"/> ブランド力が弱い	<input checked="" type="checkbox"/> これといった特徴が思い浮かばない
行財政運営	<input checked="" type="checkbox"/> 子育てサロンが工事で何になるか分からない <input checked="" type="checkbox"/> 土地の開発について区民に情報がまわっていない	<input checked="" type="checkbox"/> 公共施設が不便	<input checked="" type="checkbox"/> 中心部と周辺部とでサービスに差がある

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

40 歳	シニア世代 (60~80 歳)	中学生・高校生
	<input checked="" type="checkbox"/> 小さな商店街が無くなってきた <input checked="" type="checkbox"/> 北千住駅周辺で夜遅くまでやっていない店が多い	<input checked="" type="checkbox"/> まちの活気が足りない <input checked="" type="checkbox"/> 若い人の行事への参加人数が少ない
<input checked="" type="checkbox"/> 集まりに入りにくい雰囲気がある	<input checked="" type="checkbox"/> あいさつをしなくなっている団地がある <input checked="" type="checkbox"/> 若者と高齢者の交流が少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 人づきあいが足りていない地域がある
<input checked="" type="checkbox"/> 空き家が増えている	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢化になってきた中で空き家が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3.11 を受けて災害対策はこれでよいか <input checked="" type="checkbox"/> 防災の心配がある	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ごみ屋敷、空き家が多い
<input checked="" type="checkbox"/> 児童遊園での喫煙 <input checked="" type="checkbox"/> あいさつができない人が増えている <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 千住周辺の治安の問題が出てきている <input checked="" type="checkbox"/> 区外からのイメージは未だに治安がよくない <input checked="" type="checkbox"/> 自転車のマナーが悪い	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 公園で一部の心ない人がごみを捨てていく <input checked="" type="checkbox"/> 犬のしつけが悪い <input checked="" type="checkbox"/> 自転車のマナーが悪い <input checked="" type="checkbox"/> 違法の駐輪が多い <input checked="" type="checkbox"/> 親が子どもの指導をする場面も少なくなっている <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 犯罪がまだまだ多い <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 盗難が多い	<input checked="" type="checkbox"/> ボイ捨てがあるなど、マナーが悪い <input checked="" type="checkbox"/> 自転車の放置がある <input checked="" type="checkbox"/> イメージが悪い <input checked="" type="checkbox"/> 犯罪が多い <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ごみがたくさんあり、きれいではない <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 夜中に公園で若者がたむろする
	<input checked="" type="checkbox"/> 貧困の問題	
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 遊びに行くときは区外に行ってしまう		
<input checked="" type="checkbox"/> サービスを受ける差が出てきている <input checked="" type="checkbox"/> 広報紙に地域に身近な情報が少ない		<input checked="" type="checkbox"/> アピールが足りない

■ 30 年後の将来像

1 フレーズ

20 歳	子育て世帯（0 歳～小学生の親）
<ul style="list-style-type: none"> ・このまま足立区に住みたいと言えるまちづくり ・「行ってみたいんだよね～」と言われるまち ・人と人とのふれあい、コミュニケーションを大切にするまち ・どの世代も支えあって安心して住み続けられるまち ・老若男女が安心して充実した生活が送れる、誇れるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で安心して子育てできるまち ・子どもと高齢者が交流し元気になれるまち ・足立区に住んでいて「いいね！」と言われるようなまち ・自然や文化を自ずと誇れるまち ・住みたい人が住んでいるまち ・よそ者を受け入れ、拒まないまち ・あらゆる世代が元気で暮らしやすいまち
単身者（20～39 歳）	
<ul style="list-style-type: none"> ・活気があって温かいまち ・活気にあふれ、昔ながらの風景があるまち ・一人ひとりの生き方を認めてもらい、実現できるまち ・区民の交流があるまち ・多世代がうまく共存しあえるまち ・自慢ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の多いまち ・いろんな世代が生活しやすいまち ・高齢者が活躍できるまち ・景観にすぐれたまち ・安全で住みやすいまち ・区民が誇りにもてるまち

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

シニア世代 (60～80 歳)

- 一人ひとりが足立区に誇りを持つまち
- いろいろな人と交流し気にかけてあえるまち
- 隣近所で声をかけ、地域の絆が深まるまち
- 子どもにやさしいまち
- 高齢者が子育てをバックアップできるまち
- 誰もが誇りを持って、自立し、安心して住み、学び働けるまち
- 全世代が学び続け、知恵を共有しあえるまち
- みどりが多く、子どもの声が聞こえ、老後が安心できるまち

40 歳

- 交通の便がよいまち
- 家賃が安く住み心地がよいまち
- 地域のみんなで見守っていけるまち
- 若い人が移り住んでくるまち
- 四世代がイキイキ暮らせるまち
- 歩いて安心して暮らせるまち

■ 10年後の将来像

1 フレーズ

中学生・高校生	
中学生	
<ul style="list-style-type: none"> • みんなが助けあって過ごせるまち • あいさつが飛びかう足立区 • 雰囲気大事であるため、みんなが明るいすこししやすいまち • 気持ちよく過ごせる愛のある足立 • 人と人が支えあう住みよいまち • 地域で団結感がある • 思いやりあふれるまち • 地域交流が深く、助けあい、コミュニケーションが多い区 • みんなが住んでみたい！と思うような思いやりのあるまち • 地域との交流がたくさんあるまち • コミュニケーションが多く、住みやすいまち • あいさつがいつも飛びかかっていて、地域の人と協力ができるまち • 年配の方と若い方が協力でき活気のあるまち • ボランティア活動にみんなが参加し、みんなが笑顔になれるまち • 子どもが安心して生活できるまち • 有名校がないため、未来を創る • 大学を増やして、住みやすい区 • 都市と緑の調和のとれた住みよいまち • “キレイ”が多いまち • 歳や動物・植物問わず、みんなが笑顔で結びついているまち • 緑が豊かでのんびりした安全なまち • 心が豊かできれいなまち • 若い人が引っぱっていく活気あふれるまち • 住む人によって魅力があり希望あふれるまち • 若い人がまちの問題点を改善する活発なまち 	<ul style="list-style-type: none"> • 足立区に住む一人ひとりが足立区のために自ら動こうとする、自立心があり、自主性のある地域 • 自分だけではなく、皆のために動ける人が増える • よいところもあるが、おいしいところもあるため、それを変え、みんなの誇りになるような足立区 • 良い方向に変わり続けるまち • 足立区を離れていたとしてもまた足立区に戻ってきたいと思えるようなまち • 他の区や県の人に「そうだ 足立区へ行こう」と言わせられるような住みやすいまち • 住みやすさ みんなが変われば ナンバーワン • 思わず帰りたくなっちゃうような故郷になる • “足立区って住みやすいまちだね”と言われるようなまち • ポイ捨てはないけど、マナーがある。犯罪件数は減るけど、子どもが増える • 一人ひとりがマナーをしっかりと守って、犯罪を減らし、人が住みやすいまち • 犯罪件数が減少し、みんなが安心して、みんなが笑顔になれるまち • みんなが安心して居心地よく住めるまち • それぞれの年代にあった居場所ができ、安心・安全・信頼できるまち • 活気があって、くらしている区民はもちろん、他の区の人から見ても、安心のできる住みやすい区 • 安心してくらせる和風なまち

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

高校生

- 笑顔で人の輪ができる足立区
- コミュニケーションにより人と人のつながりがあり、温かいまち足立
- あいさつによりコミュニケーション能力が高まるため、「あいさつが飛びかうまち」
- みんなの支えあいでのり立つようなまち
- 子どもから高齢者まで幅広く全ての人が幸せにくらせるまち
- 助けあえるまち
- 地域との交流が盛んでぬくもりのあるまち
- キレイで、みんなが住みやすいまち
- 自然を守り抜き、より美しいまち
- 祭りなどの活動で活気づいた、熱いまち足立
- 誰もがあこがれるまち
- オシャレなまち。オシャレなまちになることでいろいろな人が足立区にやってきて、明るい雰囲気となり、犯罪をしても良いという環境が改善される
- 平和で美しいまち

2 キーワード整理

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20~39 歳)	子育て世帯 (0歳~小学生の親)
交流 ・コミュニティ	<input checked="" type="checkbox"/> 人と人とのふれあい <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを大切にする <input checked="" type="checkbox"/> ともに支えあう <input checked="" type="checkbox"/> どの世代も支えあう <input checked="" type="checkbox"/> 家族でおだやかに住める	<input checked="" type="checkbox"/> 温かい <input checked="" type="checkbox"/> 区民の交流がある <input checked="" type="checkbox"/> 多世代がうまく共存しあえる	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと高齢者が交流し元気になれる <input checked="" type="checkbox"/> よそ者を受け入れ、拒まないまち
生きがい ・自己実現 ・生涯学習	<input checked="" type="checkbox"/> 充実した生活が送れる	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの生き方を認めてもらう <input checked="" type="checkbox"/> 生き方が実現できる	
高齢者		<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が安心して住める <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が活躍できる	<input checked="" type="checkbox"/> おじいちゃん、おばあちゃんになっても光の当たるまちで元気に暮らせる
子ども・子育て ・学力	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 地域で安心して子育てができる
交通・道路	<input checked="" type="checkbox"/> 交通が便利		
自然及び資源の 活用と保護		<input checked="" type="checkbox"/> 自然が多い <input checked="" type="checkbox"/> 景観にすぐれた <input checked="" type="checkbox"/> 昔ながらの風景がある	
活力	<input checked="" type="checkbox"/> 活気がある	<input checked="" type="checkbox"/> 活気がある <input checked="" type="checkbox"/> 活気にあふれる <input checked="" type="checkbox"/> 施設の充実	
魅力・独自性 ・誇り・愛着	<input checked="" type="checkbox"/> 「行ってみたいんだよね～」と言われる <input checked="" type="checkbox"/> 地価の上昇 <input checked="" type="checkbox"/> 観光資源を開発しPRする <input checked="" type="checkbox"/> 文化的なまち <input checked="" type="checkbox"/> 誇れる	<input checked="" type="checkbox"/> 足立らしさ <input checked="" type="checkbox"/> おしゃれなまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 区民が誇りにもてる <input checked="" type="checkbox"/> 自慢ができる <input checked="" type="checkbox"/> イメージがよくなる	<input checked="" type="checkbox"/> きらりと光る <input checked="" type="checkbox"/> 住みたいまち No.1 <input checked="" type="checkbox"/> 足立区に住んでいて「いいね!」と言われる <input checked="" type="checkbox"/> 自然や文化を自ずと誇れる
暮らしやすさ ・居住意向	<input checked="" type="checkbox"/> このまま足立区に住みたいと言える <input checked="" type="checkbox"/> 住みたい	<input checked="" type="checkbox"/> 暮らしやすい <input checked="" type="checkbox"/> 利便性の推進 <input checked="" type="checkbox"/> いろいろな世代が生活しやすい	<input checked="" type="checkbox"/> 住みたい人が住んでいるまち <input checked="" type="checkbox"/> あらゆる世代が元気で暮らしやすいまち <input checked="" type="checkbox"/> 暮らしやすい
安全・安心	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての世代に対する医療や福祉の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 安心して住み続けられる <input checked="" type="checkbox"/> 老若男女が安心した生活を送れる	<input checked="" type="checkbox"/> 安全で住みやすい	

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

: 子ども : 暮らし : まちづくり : 経営改革

40 歳	シニア世代 (60~80 歳)	中学生・高校生
<input checked="" type="checkbox"/> 地域のみんなどで見守って いける	<input checked="" type="checkbox"/> いろんな人と交流し気にか けあえる <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が子育てをバック アップできる <input checked="" type="checkbox"/> 隣近所で声をかけ、地域の絆 が深まる	<input checked="" type="checkbox"/> 年配の方と若い方が協力できる <input checked="" type="checkbox"/> あいさつが飛びかう <input checked="" type="checkbox"/> 地域交流が深い <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションが多い <input checked="" type="checkbox"/> 団結感がある <input checked="" type="checkbox"/> 助けあう <input checked="" type="checkbox"/> みんなが笑顔になれる
<input checked="" type="checkbox"/> 四世代がイキイキ暮らせ る	<input checked="" type="checkbox"/> 誰もが自立 <input checked="" type="checkbox"/> 学び働ける <input checked="" type="checkbox"/> 全世代が学び続け、知恵を共 有しあえる	
<input checked="" type="checkbox"/> 歩いて安心して暮らせる	<input checked="" type="checkbox"/> 老後が安心できる <input checked="" type="checkbox"/> 老後も楽しく過ごせる	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもにやさしい <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの声が聞こえる	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが安心して生活できる
<input checked="" type="checkbox"/> 交通の便がよい		
	<input checked="" type="checkbox"/> みどりが多い	<input checked="" type="checkbox"/> 都市と緑の調和がとれている <input checked="" type="checkbox"/> “キレイ” が多い <input checked="" type="checkbox"/> 緑が豊か <input checked="" type="checkbox"/> 自然を守り抜いている
	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 挑戦し続ける	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 良い方向に変わり続ける <input checked="" type="checkbox"/> 活気づいている <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 若い人が引っぱっていく <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 自ら動こうとする
<input checked="" type="checkbox"/> イメージの悪さを払拭し ていく <input checked="" type="checkbox"/> 若い人が移り住んでくる	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが足立区に誇り を持つ <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが誇りを持つ	<input checked="" type="checkbox"/> 誇りになる <input checked="" type="checkbox"/> 誰もがあこがれる <input checked="" type="checkbox"/> 区外の人に「そうだ 足立区へ行 こう」と言わせられる <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> オシャレなまち
<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 家賃が安く住み心地が よい		<input checked="" type="checkbox"/> 思わず帰りたくなっちゃう <input checked="" type="checkbox"/> 住みやすい <input checked="" type="checkbox"/> 居心地よく住める
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して住める	<input checked="" type="checkbox"/> 安心してらせる <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりがマナーをしっかり 守る <input checked="" type="checkbox"/> それぞれの年代にあった居場所

■将来像に向けて取組むべきこと（区民あだちサロン）／

10年後に求められている人材像・力（中・高生ワークショップ）

グループ テーマ	20歳	単身者 (20～39歳)	子育て世帯 (0歳～小学生の親)
交流 ・コミュニティ	<input type="checkbox"/> 高齢者とのふれあい <input type="checkbox"/> イベントを開催することで様々な世代がつながるようにする <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高齢者や子どもが交流できるボランティア <input type="checkbox"/> 同年代での清掃活動で交流会が付いているもの	<input type="checkbox"/> 子どもから大人、転入者、単身者や子育て中の人まで楽しめるお祭り★ <input type="checkbox"/> 多世代の交流 <input type="checkbox"/> 区外への勤労者が参加できるような土日などのイベント★ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 子育て世代と単身者がわかりあう場、高齢者と子どもの交流の場★ <input type="checkbox"/> 足立区民月1回世界ギネス★ <input type="checkbox"/> 支えあえるコミュニティ <input type="checkbox"/> 海外の人との交流イベント <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 給食を味わえるようなイベント <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 多世代が共存できるエリア <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高齢者と保育所などが共存できる施設 <input type="checkbox"/> 若者が集まるようにアーティストを呼んで民間活力を活かしたイベント	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 農をきっかけにした子どもと高齢者の交流の促進★ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高齢者と保育所などが共存できる施設 <input type="checkbox"/> 多世代で交流 <input type="checkbox"/> 誰もが気軽に立ち寄れる場所 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 子育てサロンを通したママ友づくり <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 大学生と交流できる場所
生きがい ・自己実現 ・生涯学習			<input type="checkbox"/> シルバー層向けに行政の手伝いができるフィールドを積極的に示す
高齢者 ・健康づくり		<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者にとって住みやすいインフラ整備 <input type="checkbox"/> 医療を充実させる <input type="checkbox"/> 健康増進	<input type="checkbox"/> 「野菜を食べよう」の継続
暮らしの安心			<input type="checkbox"/> 夜間診療に対応できる大学病院等を誘致 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> シルバー世代、子育て世代のためにバリアフリーに取り組んでいく

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

★：シール投票で票数の多かったもの（※ただし中・高生ワークショップではシール投票実施無し）

☑：子ども ☑：くらし ☑：まちづくり ☑：経営改革

40 歳	シニア世代 (60～80 歳)	中学生・高校生
<ul style="list-style-type: none"> ☑☑ 高齢者と子どもがふれあえるようにする ☑☑ 施設の有効活用を行い、高齢者と子どもがふれあえるようにする★ ☑☑ 敷地内に限らず足立区内で三世代が住んでいれば税金的な免除が受けられる仕組み ☑ 多世代で交流するためのラジオ体操 ☑☑ サロンを開催し、情報発信を行う ☑ 高齢者が地域にかかわる制度づくり★ 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 地域でのコミュニケーションを深める ☑ 町会の充実★ ☑ 多世代の交流★ ☑ 高齢者と若者の共生を行う ☑☑ 高齢者施設と教育・保育施設の併設を行っていく ☑ 相談しやすい場所をつくる ☑☑ 大学生との交流 ☑ 近所づきあいができる仕組みづくり ☑ ひとり暮らしの高齢者がつながる仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 地域に関心を持ってもらってボランティアをする ☑ 地域をどんどん盛り上げる ☑ 近所づきあいを大切にする ☑☑ みんなを引っばるリーダー ☑☑ まちづくりの視点をもつ ☑ コミュニケーションをとる ☑ 自分のことだけでなく、周りを思いやる ☑ 心の穏やかな人を増やす ☑ 困っている人に手をさしのげる ☑ 意見を出して人の意見も受け入れる ☑ 多世代の行事や、国際交流をする ☑ 行事や活動に参加する、行事をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ☑ 高齢者が働く場所がある ☑ ボランティアに高齢者を活用 ☑ 健康づくりをサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 元気な高齢者に働いてもらう ☑ 高齢者の就労支援センターをつくる★ ☑ 全世代で勉強をしていけるようにする ☑ 高齢者のパワー活用（シニアの観光ガイド、ピンピンコロリ運動）★ 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 専門的な知識を活かす ☑ スポーツを盛り上げる
	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 介護者等の現場の声を掬い上げた住民参加の地域包括ケアシステムづくり ☑ ひとり暮らしの高齢者の現状把握★ 	
	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 病院の整備★ 	

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20~39 歳)	子育て世帯 (0歳~小学生の親)
子ども ・子育て ・学力	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校で老人ホームへ行く <input checked="" type="checkbox"/> 保育園の数を増やしたり広くしたりする <input checked="" type="checkbox"/> 学童の利用年齢を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> ベビーシッターを区で推進する <input checked="" type="checkbox"/> 少人数制クラスにする <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション形式、フィールドワークを取り入れる	<input checked="" type="checkbox"/> 過程を大事にする「食育」の推進★	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の待機児童の対応 <input checked="" type="checkbox"/> 保育料の低減 <input checked="" type="checkbox"/> ニーズに合わせた保育の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもを預ける場所の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 公立幼稚園を増やす★ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が出向き、昔のおもちゃづくりや遊び、昔のお話の読み聞かせ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者が通学路で旗をふり声かけする <input checked="" type="checkbox"/> 教育に力を入れていく <input checked="" type="checkbox"/> 礼儀正しい大人になるような教育 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の整備、人工芝 <input checked="" type="checkbox"/> 区内で学力を競う選手権の実施★ <input checked="" type="checkbox"/> スポーツクラブを設立して体力向上を図る <input checked="" type="checkbox"/> あいさつ運動の継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> マナー教室 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 年齢に応じた公園の整備
交通・道路	<input checked="" type="checkbox"/> 駅やバスのターミナル拠点をつくる★ <input checked="" type="checkbox"/> 東西南北につながる路線をつくる <input checked="" type="checkbox"/> 自転車道路がほしい	<input checked="" type="checkbox"/> 北千住以外のターミナル拠点★ <input checked="" type="checkbox"/> 日暮里・舎人ライナーに女性専用車両を設ける	<input checked="" type="checkbox"/> 街並み、道路、公園の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 安心して自転車やベビーカーが利用できる道路の整備
自然及び資源の活用と保護	<input checked="" type="checkbox"/> 今ある資源をうまく活用する	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 空き店舗を活用して雇用を創出する★ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 公園を活かしたイベント	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 廃校等を有効活用した高齢者が活躍できる場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> このままの足立区でいて欲しい
活力	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 商業施設等を増やす <input checked="" type="checkbox"/> 買い物の地域格差をなくす <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> テーマパークや映画館、ショッピングモールの設置 <input checked="" type="checkbox"/> 健全なイベントの開催	<input checked="" type="checkbox"/> 昔ながらのよいお店に対し行政が手助けをする	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> パンチのある商業施設を西新井以外の地域につくって欲しい★ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> オフィスやショッピング施設の整備

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

40 歳	シニア世代 (60～80 歳)	中学生・高校生
<input checked="" type="checkbox"/> 待機児童対策 <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育園の無償化★ <input checked="" type="checkbox"/> 学校のウリをつくる★ <input checked="" type="checkbox"/> 宿題を見るための職員をつける <input checked="" type="checkbox"/> 登校支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもにとっての環境づくり★ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 農地などを活用し学校教育に自然学習を取り込む★ <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの教育への地域の参加★	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもを増やす <input checked="" type="checkbox"/> 学ぶ意欲をもつ <input checked="" type="checkbox"/> 学ぶことの楽しさを伝える <input checked="" type="checkbox"/> 学力向上に取り組む <input checked="" type="checkbox"/> 学力がなかなか伸びない人のために教室を開く <input checked="" type="checkbox"/> 勉強などを教える <input checked="" type="checkbox"/> 子どもをきちんと叱り、本音を話せ、子どもを支える <input checked="" type="checkbox"/> オリンピックに向けて語学力を身につける <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えをもってしっかりと発表することができる <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 責任感をしっかりともつ
<input checked="" type="checkbox"/> 狭い道路に関する対策 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車道路と歩道を分け、歩きやすくする	<input checked="" type="checkbox"/> 自転車道の整備	
<input checked="" type="checkbox"/> 足立区の商品券の利用促進	<input checked="" type="checkbox"/> 企業誘致を行う	

グループ テーマ	20 歳	単身者 (20～39 歳)	子育て世帯 (0 歳～小学生の親)
魅力・独自性 ・誇り	<input type="checkbox"/> 団地を減らし、おしゃれなマンションや住宅街をつくる <input type="checkbox"/> 新しい観光名所を誘致し格のあるまちにする <input type="checkbox"/> 民間の力を活用して親しまれるようなゆるキャラをつくる★ <input type="checkbox"/> 学力の向上を通じたイメージ改善 <input type="checkbox"/> 大学をもっと増やす <input type="checkbox"/> 老朽化した都営住宅を建て替える <input type="checkbox"/> 子育てに強い足立区を目指す	<input type="checkbox"/> 長期を見据えたブランド力の形成★ <input type="checkbox"/> IT企業、ベンチャーの誘致	<input type="checkbox"/> 緑があり、畑があってそれでも「いいね!」と言われるように考えていく <input type="checkbox"/> 23区で一番子育てしやすい区 <input type="checkbox"/> まちをおしゃれにする <input type="checkbox"/> 「足立区といえば〇〇」、というものをつくり出していく <input type="checkbox"/> 空き家、ぼろ家に対する取り組み
情報発信	<input type="checkbox"/> ひと目で分かるような広報紙をつくる <input type="checkbox"/> 区内の取組みの認知度を上げる★ <input type="checkbox"/> バス停などでの待ち時間に見られるもの★ <input type="checkbox"/> 子育てやイベントなど、求めている情報だけが入手できるツイッター★ <input type="checkbox"/> 報酬付きのイベント(ボランティア等)★ <input type="checkbox"/> 区民にイメージとは異なることをアピール	<input type="checkbox"/> いろいろな人に情報を発信していく	<input type="checkbox"/> イメージアップに向けてPR活動★
防災		<input type="checkbox"/> 古い商店街の安全性を高める <input type="checkbox"/> リフォーム補助を行う	
治安・マナー ・モラル	<input type="checkbox"/> マナー教室を開催 <input type="checkbox"/> 街灯をつけて明るく安全なまちをつくる <input type="checkbox"/> 一人ひとりの防犯意識を向上させる★ <input type="checkbox"/> 区民で助けあってパトロール	<input type="checkbox"/> 地域ごとに掃除をしていく <input type="checkbox"/> 見守り、パトロールで、小・中学生も参加させる★	<input type="checkbox"/> ごみ拾い等の区民ボランティア★ <input type="checkbox"/> 公園をきれいにする <input type="checkbox"/> モラルの向上 <input type="checkbox"/> まちをもっとよくしていくという気持ちを育む
行財政運営 ・協働	<input type="checkbox"/> 足立区役所を民間と協力しあいながら安い費用で建てる		

※ワークショップ参加者が書いた意見等を記載

40 歳	シニア世代 (60~80 歳)	中学生・高校生
<input checked="" type="checkbox"/> 大学の誘致を促進	<input checked="" type="checkbox"/> 若者を引き寄せるために、催しを行う	<input checked="" type="checkbox"/> 足立区出身の芸能人を生み出す
		<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 犯罪を減らすためにメディアで発信する <input checked="" type="checkbox"/> 情報を発信する <input checked="" type="checkbox"/> 足立のよさを語る
	<input checked="" type="checkbox"/> 災害対策を充実していく	
	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 暴力団、いかがわしい団体の追放★	<input checked="" type="checkbox"/> 欲を抑える <input checked="" type="checkbox"/> 見本になる <input checked="" type="checkbox"/> マナーを良くする <input checked="" type="checkbox"/> マナーを守る <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 環境面で公園や道路の清掃をするなどまちをきれいにする
		<input checked="" type="checkbox"/> 区民、子どもの声を大切にする

書 名：新たな足立区基本構想について（答申）

発 行：足立区

発行年月：平成28年2月

編 集：足立区政策経営部基本構想担当課
東京都足立区中央本町1-17-1
03-3880-5111(代)

登録番号：27-2162

印 刷：株式会社 地域計画連合
東京都豊島区北大塚2-24-5
ステーションフロントタワー2F
03-5974-2021